



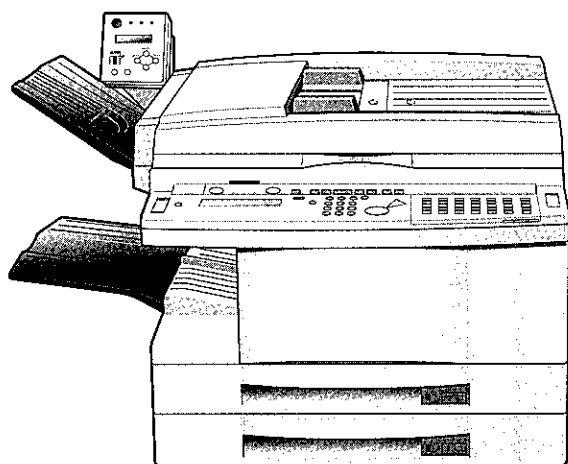
# NTTFAX D-60

## PCプリンタユニット

### — インストールガイド —

このたびはNTTFAX D-60 PCプリンタユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「インストールガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お使いになったあとも、本機のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。



# 本書の使いかた

本書ではプリンタドライバやユーティリティソフトの使用方法について説明します。

本書は、Windows 95/98、Windows NT4.0を使用しているお客様を対象としており、次のような構成になっています。

**Windows 95/98をお使いの方**

**P.5**

## 第1章

### Windows 95/98から印刷するには

Microsoft®Windows®95日本語版  
またはMicrosoft® Windows® 98日本語版から印刷をするための説明をします。

**Windows 95/98をお使いの方**

**P.23**

## 第2章

### いろいろな機能を使って印刷する

Windows 95/98をお使いの方に、プリンタのいろいろな機能を使って印刷する方法を説明します。

**Windows NT 4.0をお使いの方**

**P.55**

## 第3章

### Windows NT 4.0から印刷するには

Microsoft®Windows NT® Version 4.0日本語版から印刷をするための説明をします。

**NetSpotを使うとき**

**P.71**

## 第4章

### NetSpotを使用してプリンタの管理をするには

NetSpotのインストール方法とプリンタの管理を行う手順について説明します。

## 付録

付録

# 目次

本書の使い方

## 第1章 Windows 95/98から印刷するには

1. 印刷するときに必要な作業 ..... 6
2. ソフトウェアの構成 ..... 7
3. 必要なシステム環境 ..... 8
4. プリンタドライバとPrint Buddy IIをインストールする ..... 9
5. アプリケーションソフトから印刷する ..... 16
6. Print Buddy IIとは ..... 19

## 第2章 いろいろな機能を使って印刷する

1. プリンタの機能の紹介 ..... 24
2. プリンタの機能の使いかた ..... 25
3. 原稿の種類に適した印刷設定をする ..... 29
4. 用紙サイズ・印刷の向きを変えて印刷する ..... 31
5. 給紙方法を変えて印刷する ..... 34
6. 原稿を拡大・縮小して印刷する ..... 35
7. 2・4ページ分の原稿を1枚の用紙に並べて印刷する ..... 38
8. 複数部数の印刷をする ..... 39
9. とじ代を付けて印刷する ..... 40
10. 印刷モードのカスタマイズをする ..... 41
11. データを重ね合わせて印刷する ..... 45
12. PageComposerの機能を使って印刷する ..... 49

## 第3章 Windows NT4.0から印刷するには

1. 印刷するときに必要な作業 .....	56
2. 必要なシステム環境 .....	57
3. プリンタドライバをインストールする .....	58
4. Print Buddy IIをインストールする .....	61
5. いろいろな機能を設定する .....	67
印刷時の文書設定をする .....	67
文書の標準設定をする .....	68
プリンタの設定をする .....	69

## 第4章 NetSpotを使用してプリンタの管理するには

1. NetSpotの特長 .....	72
2. 必要なシステム環境 .....	73
3. NetSpotをインストールする .....	75
4. NetSpotのおもな機能 .....	78
5. プリンタの状態を調べる .....	79
6. プリンタの設定をする .....	82
7. ネットワークの設定をする .....	84

## 付録

1. HP OpenView ネットワーク ノードマネージャーをお使いの方へ .....	88
2. 不要なドライバを削除する .....	89
3. FontGallery について .....	92
索引 .....	98

## 商標について

LIPS, Print Buddy II, NetSpot, PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。  
TypeWing, FontGallery, FontComposer は、キヤノン株式会社の登録商標です。  
Microsoft, Windows, MS-DOS, Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。  
PC-9800 シリーズは、日本電気株式会社の商標です。  
ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の商標です。  
TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。  
IBM, AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。  
Novell, NetWare は、米国 Novell Inc. の登録商標です。  
Apple, AppleTalk, Macintosh, 漢字 Talk は、米国 Apple Computer Inc. の商標です。  
その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。  
Microsoft® Windows® 95 日本語版を Windows 95 と表記しています。  
Microsoft® Windows® 3.1 日本語版を Windows 3.1 と表記しています。  
Microsoft® Windows NT® 日本語版を Windows NT と表記しています。  
Microsoft® Windows® 95 日本語版または、Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 95/98 と表記しています。

## 本書で使用しているマークについて

本書では、注意していただきたいことや参考にしていただきたいことの説明には、次のようなマークをつけています。



お願い

- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。



メモ

- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている画面表示等は、ソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

# 第 1 章

## Windows 95/98 から印刷するには

ここでは、Microsoft® Windows® 95 日本語版または Microsoft® Windows® 98 日本語版をお使いの方のために、プリンタドライバをインストールしてから印刷するまでの手順などを説明します。

# 1 印刷するときに必要な作業

NTTFAX D-60の設置が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行う必要があります。

アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は次のとおりです。

## NTTFAX D-60 を設置したあとに行う作業

P.9

### ① プリンタドライバと Print Buddy II をインストールする

プリンタドライバは、Windowsアプリケーションソフトから印刷するときには必ず必要なソフトウェアです。同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

Print Buddy II は、NTTFAX D-60 をより快適に使用するためのソフトウェアです。同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

## 印刷のたびに行う作業

P.16

### ① 印刷設定をする

用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印刷の品質などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。

印刷設定は、プリンタドライバから行います。

### ② 印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

## 2) ソフトウェアの構成

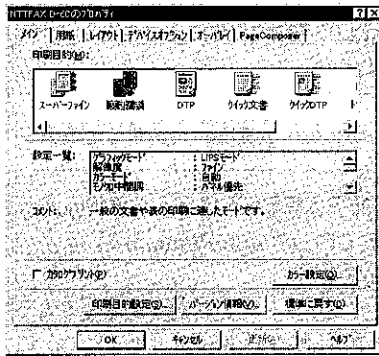
Windows 95/98用ソフトウェアとして、LIPS IVプリンタドライバとPrint Buddy IIが同梱のCD-ROMに収録されています。

### LIPS IV プリンタドライバ

プリンタドライバは印刷するときに必要なソフトウェアです。

1. 印刷データをプリンタが理解できるデータに変換してプリンタに送る
  2. 拡大/縮小印刷など印刷条件の設定を行う
- の2つの働きがあります。

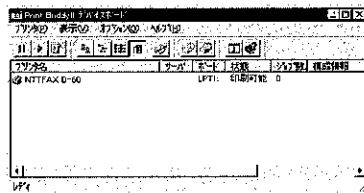
#### プリンタドライバの設定画面



### Print Buddy II

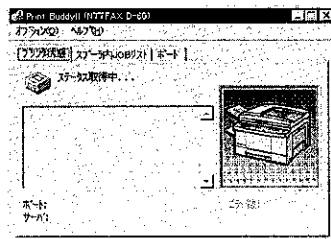
Print Buddy IIは、ネットワークに接続されているプリンタの状態や印刷ジョブを確認するためのユーティリティソフトです。Print Buddy IIでは、「デバイスボード」や「ステータスマニタ」を使って、印刷の状態や印刷ジョブの管理を行います。機能の詳細については、P.19またはヘルプを参照してください。

#### デバイスボード



プリンタごとに、プリンタ名、プリンタの接続先、プリンタの状態などが表示されます。また、印刷処理の一時停止・再開、印刷ジョブの削除などを行うことができます。

#### ステータスマニタ



プリンタの状態やエラー時の対処方法、印刷ジョブの状態などが表示されます。また、印刷処理の一時停止・再開、印刷ジョブの削除などを行うことができます。



## 3) 必要なシステム環境



お願い

- NTTFAX D-60 の場合、Print Buddy II の機能を使用するためには、プリントサーバ（ネットワークボード）として、LAN プリンタユニット（オプション）が必要です。
- NTTFAX D-60 がパソコンにローカル接続されている場合、Print Buddy II は使用できません。

Windows 95/98 用 プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア：Microsoft Windows 95 日本語版または Microsoft Windows 98 日本語版  
コンピュータ：Microsoft Windows 95 日本語版または Microsoft Windows 98 日本語版が動作するコンピュータ

Windows95/98 用 Print Buddy II は以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア：Microsoft Windows 95 日本語版または Microsoft Windows 98 日本語版  
ハードウェア：・CPU：Intel 社製 CPU i80486/Pentium 系  
・メモリ：16Mbyte 以上  
・画面サイズ：640×480 ドット以上の表示解像度をもつディスプレイ  
・カラー：256 色以上の表示色数をもつディスプレイ  
・ハードディスク容量：動作時に 10M バイト以上が必要  
ネットワークプロトコル：  
・TCP/IP プロトコル  
\*ここでのネットワークプロトコルとは、プリンタサーバとコンピュータ間のプロトコルであり、コンピュータ間のプロトコルではありません。



お願い

- Microsoft Windows 95/98 英語版ではお使いになれません。
- プリンタドライバと Print Buddy II をインストールするには CD-ROM ドライブが必要です。

## 4) プリンタドライバとPrint Buddy IIをインストールする

最初に印刷を行う前に、プリンタドライバとPrint Buddy IIのインストールが必要です。次の手順でインストールしてください。



お願い

- お使いのコンピュータの環境によっては、プリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。その場合は以下の「プラグ&プレイによる自動セットアップ」をお読みになってからインストールを行ってください。
- 以前のバージョンのLIPS IVプリンタドライバがすでにインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから本プリンタドライバをインストールしてください。
- プリンタドライバとPrint Buddy IIをインストールするにはCD-ROMドライブが必要です。

### プラグ&プレイによる自動セットアップ

お使いの環境によっては、NTTFAX D-60を接続して最初にWindows 95/98を起動すると、自動的に機種を判別してインストール作業が開始されます。

Windows 95の場合は、[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されたら、[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。インストール作業の手順1～7は不要ですので、手順8にすすんでインストールをおこなってください。

Windows 98の場合は、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されたら、[キャンセル]ボタンをクリックして、次のインストール作業の手順1からインストールを行ってください。



お願い

- Windows 95/98を起動したときに[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合は、[キャンセル]ボタンをクリックし、インストール作業の手順1からインストールを行ってください。

1

第1章 Windows 95/98から印刷するには

## インストール手順

### 1

コンピュータにNTTFAX D-60を正しく接続し、NTTFAX D-60の電源が入っていることと、オンラインキーが点灯していることを確認します。

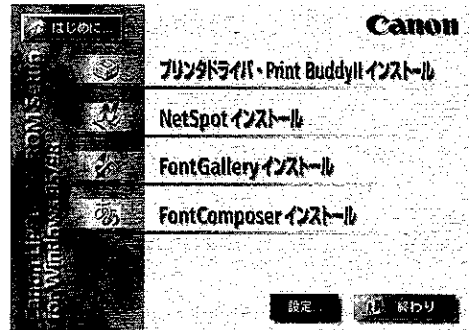


- NTTFAX D-60の電源が入っていないときや、オフラインの時にインストールすると正常にインストールできないことがあります。

### 2

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

CD-ROMメニューが自動的に表示されます。



- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システム状況によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

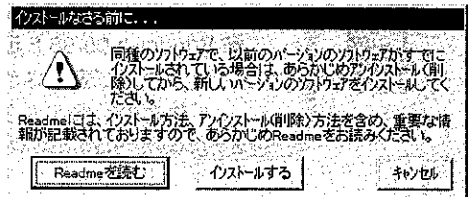
### 3

CD-ROMメニューの[プリンタドライバ・Print Buddy II インストール]ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して[同意します]ボタンをクリックしてください。

[インストールをなされる前に]ダイアログボックスが表示されます。

必要に応じてReadmeをお読みください。



## 4

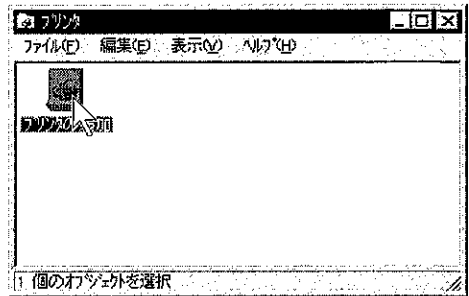
[インストールする]ボタンをクリックします。

[プリンタ]フォルダが表示されます。

## 5

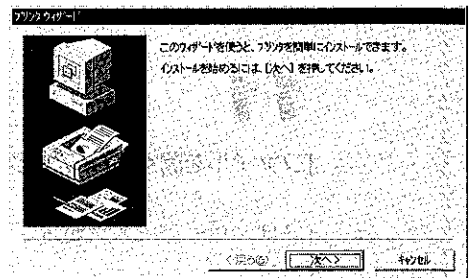
[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

[プリンタ ウィザード]が起動します。



## 6

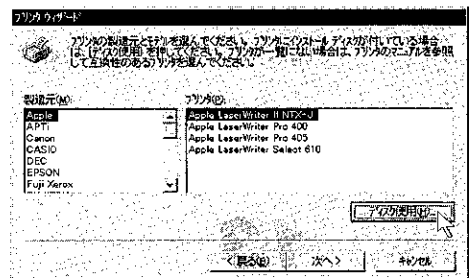
以下、画面の案内にしたがってインストールを続けます。



## 7

プリンタ機種名の選択では、[ディスク使用...]ボタンをクリックします。

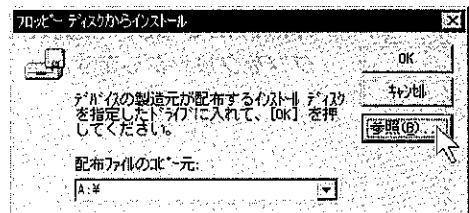
[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスが表示されます。



## 8

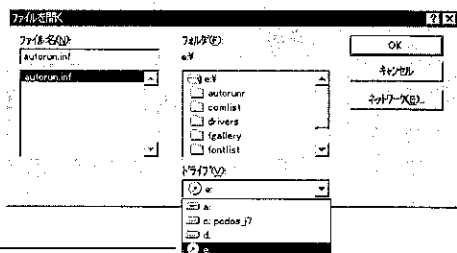
[参照...]ボタンをクリックします。

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。



# 9

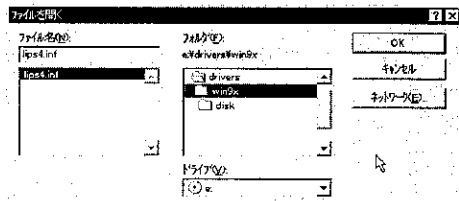
[ドライブ:]でCD-ROMをセットしたドライブ名を選択します。



CD-ROMドライブには、このアイコンが表示されます。

# 10

[フォルダ:]で[drivers]、[Win9x]の順で続けてダブルクリックします。



# 11

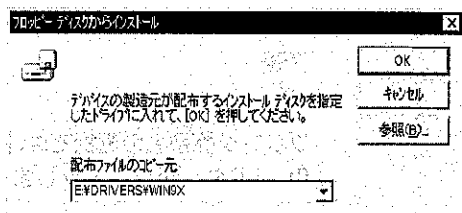
[ファイルを開く]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックします。

[フロッピーディスクからインストール]ダイアログボックスに戻ります。

# 12

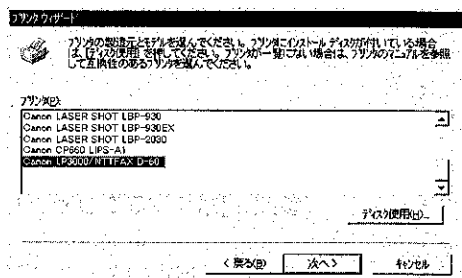
[OK]ボタンをクリックします。

[プリンタ ウィザード]に戻ります。



# 13

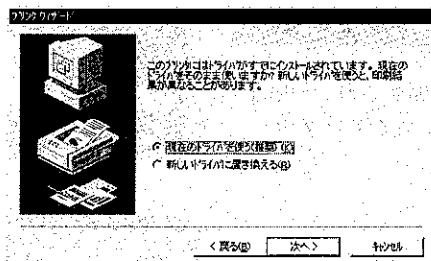
[プリンタ:]一覧で「Canon LP3000/NTTFAX D-60」を選択し、[次へ>]ボタンをクリックします。





お願い

- お使いの環境によっては、下のような画面が表示されます。このときは、[新しいドライバに置き換える]を選択してください。

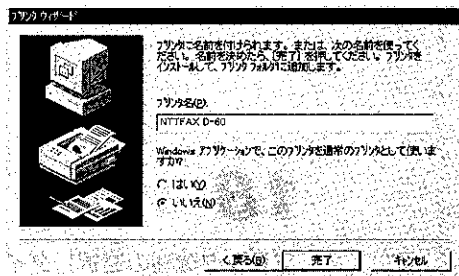


[次へ] ボタンをクリックして、インストールを続けます。

## 14

画面の指示にしたがって設定を行い、最後に[完了]ボタンをクリックすると、プリンタドライバ関連のファイルがインストールされます。

この画面でプリンタ名称を入力することができます。本書では、以降プリンタ名に「NTTFAX D-60」と入力したものと説明します。



ここで、プリンタドライバのインストールが終了します。

## 15

CD-ROM メニューに戻り、[終わり]ボタンをクリックしてCD-ROMメニューを閉じてください。

続いて、Windows の[スタート]ボタンから[ファイル名を指定して実行]コマンドを選択します。表示される[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスの [名前]で

CD-ROM のドライブ名: ¥ drivers ¥ win9x ¥ setup.exe

(例) CD-ROM のドライブ名が d の場合は、d: ¥ drivers ¥ win9x ¥ setup.exe

を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



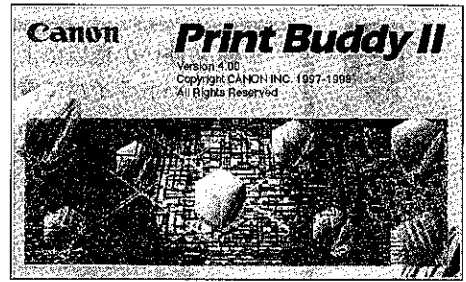
お願い

Print Buddy II を使用するためにはオプションのLANプリンタユニットが必要です。また、NTTFAX D-60 をパソコンにローカル (直接) 接続しているお客様は Print Buddy II を使用することができません。LAN プリンタユニットをお持ちでないお客様、または NTTFAX D-60 をパソコンにローカル接続しているお客様は、Print Buddy II をインストールしないでください。

# 16

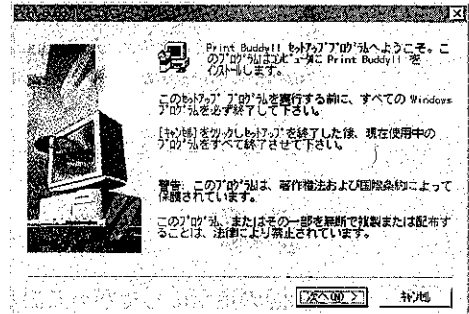
[Print Buddy II インストーラ]が起動します。

セットアップの準備が開始され、[Print Buddy II へようこそ] ダイアログボックスが表示されます。



# 17

[Print Buddy II へようこそ] ダイアログボックスの記載を読み、[次へ] ボタンをクリックします。



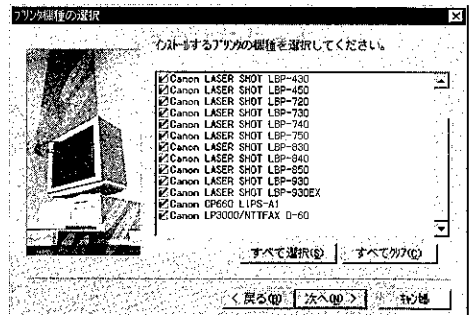
# 18

[プリンタ機種を選択] ダイアログボックスで、インストールする機種を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

初期状態では、すべての機種が選択されています。

プリンタの機種名前の前のチェックマークをクリックして、選択を解除したり、選択し直すことができます。

NTTFAX D-60 の場合は、  
「Canon LP3000/NTTFAX D-60」を選択してください。



# 19

[インストール先の入力] ダイアログボックスで、インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

[参照] ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することもできます。

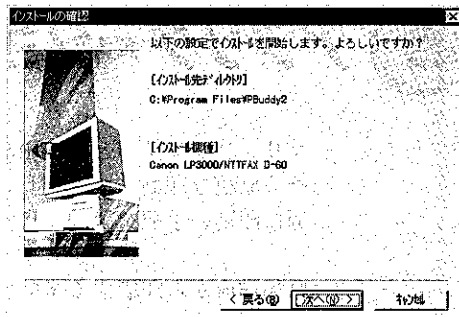


## 20

[インストールの確認] ダイアログボックスで設定を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

設定を変更したい場合は、[戻る] ボタンをクリックして、再度設定し直してください。

[次へ] ボタンをクリックすると、「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。セットアップを続ける場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。



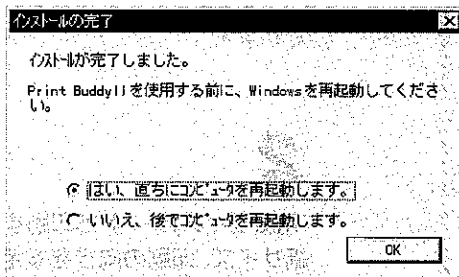
## 21

Print Buddy II のインストールが開始されます。インストールが終了すると、「README ファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして、README ファイルの記載を読んでください。

## 22

README ファイルの内容を確認して、ファイルを閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。



## 23

[OK] ボタンをクリックします。

Print Buddy II を使用する前に、Windows を再起動してください。これでインストールは終了です。



## 5) アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバと Print Buddy II をインストールしたら印刷の準備は完了です。さっそく原稿を印刷してみましょう。ここでは「Microsoft Word Version 7.0 日本語版」を例に印刷の手順を説明します。

原稿作成から印刷するまでのおもな手順は次のとおりです。

アプリケーションソフトを開く → 用紙サイズや印刷の向きを設定する →  
原稿を作成する → 印刷条件を設定する → 原稿を印刷する



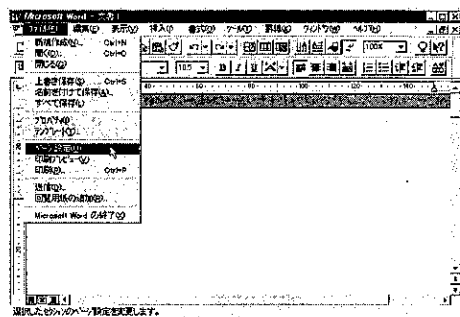
メモ

- 印刷の手順は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書をお読みください。

### 1

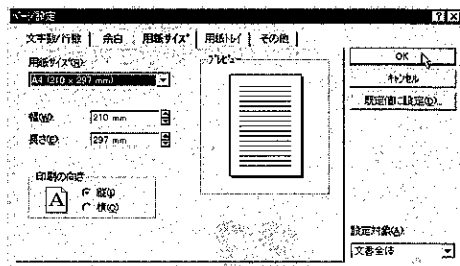
Microsoft Word 7.0 を起動し、[ファイル]メニューの[ページ設定...]を選択します。

[ページ設定]ダイアログボックスが表示されます。



### 2

[用紙サイズ]シートで印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定し、[OK]ボタンをクリックします。



お願い

- 原稿の用紙サイズ、印刷の向きの設定場所は、お使いのアプリケーションソフトによって異なる場合があります。

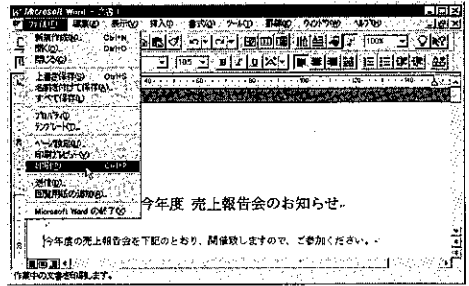
### 3

印刷する原稿を作成します。

## 4

[ファイル]メニューの[印刷...]を選択します。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

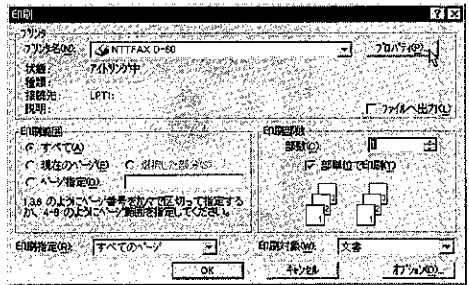


続いて、印刷する原稿にあわせた効果的な印刷をするために、プリンタドライバの設定を行います。

## 5

[プリンタ名]にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認し、[プロパティ]ボタンをクリックします。

正しいプリンタ名が表示されていない場合は、一覧からお使いのプリンタ名を選択してください。



[XXXのプロパティ]ダイアログボックス（お使いのプリンタ名のダイアログボックス）が表示されます。なお、ここに表示されるプリンタ名は[プリンタ]フォルダで変更することができます。



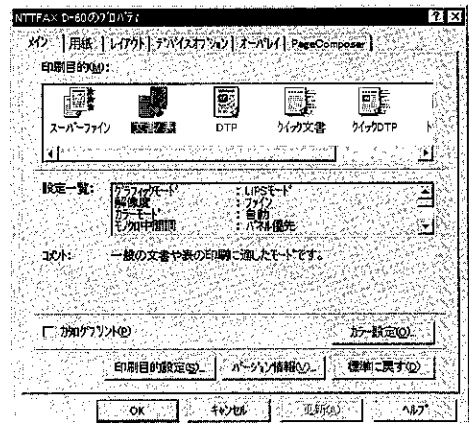
- プリンタ名のダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

## 6

このプリンタ名のダイアログボックスがプリンタドライバの設定画面です。設定画面の各シートで印刷条件を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

[メイン]シートと[用紙]シートの内容は、印刷を実行するたびに確認することをおすすめします。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。



# 7

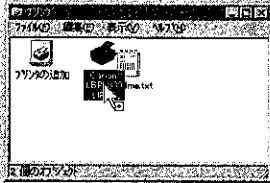
[OK]ボタンをクリックすると印刷がはじまります。

「第2章 いろいろな機能を使って印刷する」には、プリンタとプリンタドライバのいろいろな機能を利用するための説明があります。

印刷する原稿、目的にあわせてプリンタとプリンタドライバを設定し、最大限に活用してください。

## 便利な印刷

アプリケーションソフトで作成したデータのアイコンを、プリンタのアイコンの上に移動すると直接印刷を実行することができます。



## 6 Print Buddy IIとは

Print Buddy IIは、プリンタの状態や印刷ジョブの状態を確認するためのユーティリティソフトです。Print Buddy IIの対象となるプリンタの機種およびプリンタの接続形態は次のとおりです。

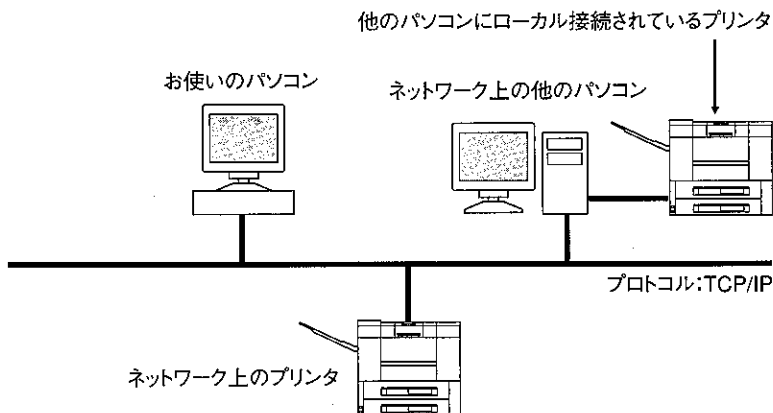
### プリンタの機種

- ・NTTFAX D-60
- ・Canon LBP-310, 320, 430, 450, 720, 730, 740, 750, 830, 840, 850, 930, 930EX, 2030, CP660

### プリンタの接続形態

- ・TCP/IPプロトコルでネットワークに接続されているプリンタ
- ・ネットワーク上の他のパソコンに接続されている共有プリンタ

また、印刷ジョブがネットワークプリンタサーバー経由で出力された場合、ネットワークサーバー上の印刷状態も確認することができます。



お願い

- NTTFAX D-60の場合、Print Buddy IIの機能を使用するためには、プリントサーバ（ネットワークボード）としてLANプリンタユニット（オプション）が必要です。
- NTTFAX D-60がパソコンにローカル接続されている場合、Print Buddy IIは使用できません。

## Print Buddy II Managerの使い方

Windowsが起動されると、Print Buddy II Managerが自動的に起動され、タスクバーのインジケータ領域の右端にPrint Buddy II Managerのインジケータ（アイコン）が表示されます。



Print Buddy II Managerのインジケータを左クリック（マウスの左ボタンでクリック）して、メニューを表示し、次の操作を行うことができます。各機能の詳細については、ヘルプをご覧ください。

- ・ デバイスボードの起動
- ・ ステータスマニタの起動

Print Buddy II Managerのインジケータを右クリック（マウスの右ボタンでクリック）して、メニューを表示し、次の操作を行うことができます。各機能の詳細については、ヘルプをご覧ください。

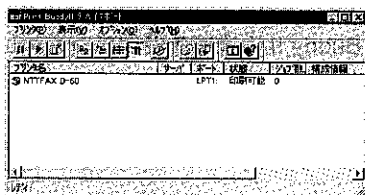
- ・ Print Buddy II Managerのプロパティの設定
- ・ ヘルプの表示
- ・ バージョン情報の表示
- ・ Print Buddy II Managerの終了

## Print Buddy II デバイスボード

### デバイスボードの起動

Print Buddy II Managerのインジケータを左クリックして[デバイスボードの起動]コマンドを選択するか、インジケータをダブルクリックすると、Print Buddy II デバイスボードが表示されます。

また、Windowsの[スタート]ボタンから[プログラム]-[Print Buddy II Manager for WindowsXX]を選び、[Print Buddy II デバイスボード]を選択して、直接表示することもできます。



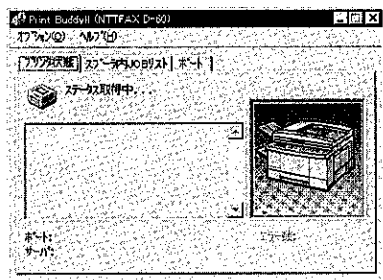
デバイスボードには、インストールされているPrint Buddy II対応の各プリンタごとに、プリンタ名、プリンタの接続先（LPT 1などのポート名）、デバイスボード起動時のプリンタの状態とジョブ数が表示されます。

プリンタの状態には、「ウォーミングアップ中」、「スリープ中」、「印刷可能」、「ワーニング」、「エラー」、「印刷中」、「一時停止」、「要調査」、「オフライン」などがあります。また、印刷処理の一時停止・再開や印刷ジョブの削除を行うことができます。

## Print Buddy II ステータスマニタ

### ステータスマニタの起動

Print Buddy II Manager のインジケータを左クリックして、[プリンタ名 (NTTFAX D-60 など)]コマンドを選択すると、選択したプリンタの Print Buddy II ステータスマニタが表示されます。ステータスマニタで、選択したプリンタの状態や印刷ジョブの状態を確認することができます。



### [プリンタ状態]シート

[プリンタ状態]シートには、プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。また、[プリンタ状態]シートの下の欄には、プリンタに対する情報・警告・エラー時の対処方法などが表示されます。

### [スプール内JOBリスト]シート

コンピュータ内の印刷ジョブ（まだプリンタに送られていない印刷ジョブ）について、ドキュメント名、印刷状態、オーナー、印刷データのサイズが表示されます。印刷状態には、「スプール中」、「印刷待ち」、「印刷中」、「一時停止」、「削除中」などがあります。また、印刷処理の一時停止・再開や印刷ジョブの削除が行うことができます。

### [ポート]シート

プリンタプールの機能を使用して、複数のポートを設定している場合、このシートでそのポートの中から状態を調べたいポートを指定することができます。(プリンタプールは Windows NT4.0 の機能です。)



お願い

- [プリンタ状態]シートに表示されるエラー数は、実際に発生したエラー数とは異なることがあります。表示されるエラー数は、おおまかな目安としてお使いください。

---

# 1

第一章 Windows 95/98 的安装与使用

## 第2章

# いろいろな機能を使って印刷する

一通り印刷ができるようになったら、いろいろな印刷機能を使いこなそう。  
ここでは、Windows 95/98をお使いの方に、いろいろな機能を使って印刷する方法を説明します。



# 1) プリンタの機能の紹介

NTTFAX D-60は、拡大・縮小印刷や、2ページあるいは4ページ分の原稿を1枚の用紙に印刷するなど、いろいろな機能を持っています。これらの機能の大部分は、プリンタドライバから設定することができます。

Windows 95/98をお使いの方が利用できるおもな機能には、次のようなものがあります。



メモ

● 次の機能以外についての説明は、ヘルプを参照してください。

機能	機能の概要	参照ページ
印刷目的アイコン (オートバレット機能)	原稿の種類に適した印刷を簡単に行います	P.29
用紙サイズ	用紙サイズを設定します	P.31
印刷の向き	用紙を縦方向に印刷するか横方向に印刷するかを切り替えます	P.32
給紙方法	用紙の給紙方法を選択します	P.34
拡大・縮小印刷	原稿を拡大または縮小して印刷します	P.35
2・4ページ印刷	2ページ分、または4ページ分のデータを並べて1枚の用紙に印刷します	P.38
印刷部数	印刷部数を変更します	P.39
とじ代	とじ代をつけて印刷します	P.40
印刷目的設定	独自の印刷モードにカスタマイズできます	P.41
オーバーレイ印字	データを重ね合わせて印刷します	P.45
PageComposer	部単位印刷、逆順印刷、Nページ印刷などを行います	P.49

## 2

第2章  
いろいろな機能を使って印刷する

## 2) プリンタの機能の使いかた

プリンタの機能の設定はプリンタドライバで行います。

### プリンタドライバで設定する

プリンタドライバで印刷の設定をするためにはプリンタ名のダイアログボックスを開き、ダイアログボックスの各シート上で印刷条件を指定します。

ダイアログボックスを開くには2種類の方法があります。

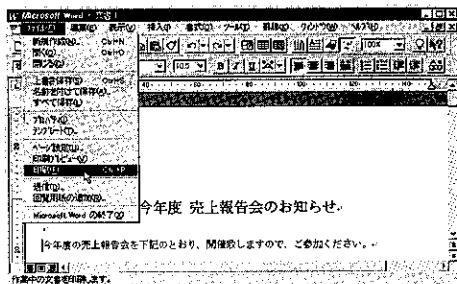
- ①アプリケーションソフトから開く
- ②プリンタアイコンから開く

#### アプリケーションソフトからダイアログボックスを開く場合

アプリケーションソフトからプリンタ名のダイアログボックスを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書を参照してください。ここでは、Microsoft Word 7.0 の場合を例に説明します。

### 1

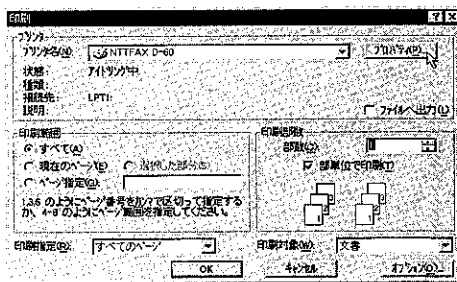
Microsoft Word7.0の[ファイル]-[印刷...]メニューを選択し[印刷]ダイアログボックスをクリックします。



### 2

お使いのプリンタ名が選択されていることを確認し[プロパティ]ボタンをクリックします。

プリンタのダイアログボックスが表示されます。



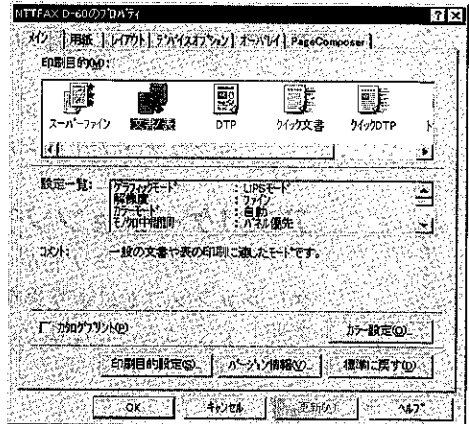
### ダイアログボックスを開くには

通常、プリンタ名のダイアログボックスはアプリケーションソフトの[ファイル]—[ページ設定]メニューや[ファイル]—[印刷...]メニューから開きます。

プリンタ名のダイアログボックスがアプリケーションソフトから開けない場合には、次の「プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法」(→P.29)をお読みください。

## 3

シート名をクリックし、設定したい項目があるシートを表示します。

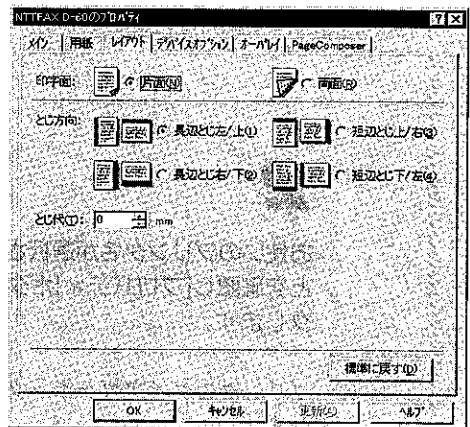


メモ

- 各設定項目の詳細は、ヘルプを参照してください。ヘルプは、ダイアログボックス上の[ヘルプ]ボタンをクリックすると表示されます。

## 4

設定項目を設定します。



## 5

[OK]ボタンをクリックすると設定が有効になります。



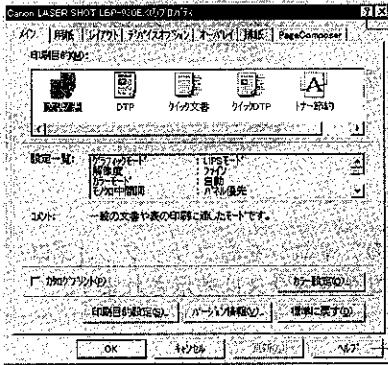
メモ

- [更新]ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開いたまま設定が有効になります。

2 第2章 いろいろな機能を使って印刷する

## プリンタドライバのヘルプについて

プリンタドライバの各設定項目の内容はヘルプで見ることができます。



このマークをクリックし、続けて調べたい項目をクリックすると、各項目の説明が表示されます。

[ヘルプ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバのヘルプの目次が表示されます。見たい項目をダブルクリックしていくと、項目の説明が表示されます。

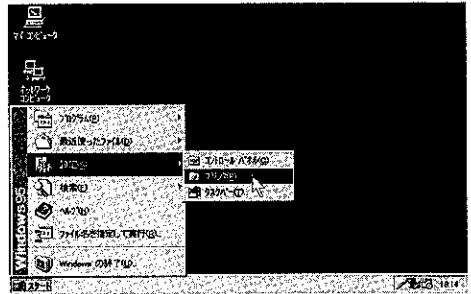
## プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法

お使いのプリンタ名のダイアログボックスをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

### 1

[スタート]メニューの[設定] - [プリンタ]を選択します。

[プリンタ]フォルダが表示されます。



### 2

お使いのプリンタ名のアイコンをダブルクリックします。

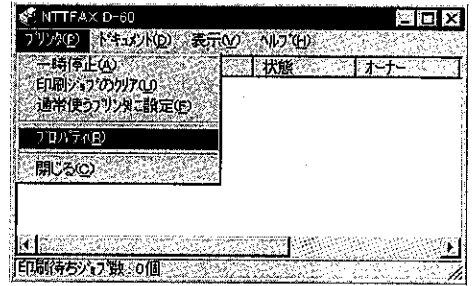
プリンタ名のフォルダが表示されます。



### 3

[プリンタ]メニューの[プロパティ]を選択します。

プリンタ名のダイアログボックスが表示されます。



- 手順1のあと、プリンタ名のアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択してもプリンタ名のダイアログボックスは表示されます。

## 3 原稿の種類に適した印刷設定をする

写真や絵が入った原稿をきれいに印刷するには細かい設定が必要ですが、NTTFAX D-60では[印刷目的]アイコンを選択するだけで原稿の種類に適した印刷をおこなうことができます(オートパレット機能)。**[印刷目的]アイコンにはあらかじめ最適な設定が登録されているからです。**



メモ

- [印刷目的]中に適当なアイコンがないときは、印刷目的の詳細を設定し、独自の設定を登録したアイコンを作成することもできます。印刷目的の設定は、[印刷目的設定]ダイアログボックス([メイン]シートで[印刷目的設定]ボタンをクリックすると表示されます)でおこないます。(→P.41)

### あらかじめ用意されている印刷目的アイコン

次のような印刷目的アイコンが用意されています。

アイコン	原稿の種類と目的	解像度	TrueTypeフォントの印刷方法
 スーパーファイル	写真やグラデーションを含む原稿。 ただし、プリンタに8MB以上の増設RAMモジュール(オプション)が必要です。	1200dpi	プリンタフォントに置き換えて高速に印刷
 文書/表	文書、表、図形などが混在する一般的な原稿	600dpi	プリンタフォントに置き換えて高速に印刷
 DTP	イメージデータをきれいに印刷したい場合やTrueTypeフォントをそのまま印刷したい場合	600dpi	画面上と同じフォントで印刷
 クイック文書	文書、表、図形などが混在する一般的な原稿(300dpi)	300dpi	プリンタフォントに置き換えて高速に印刷
 クイックDTP	大きな写真などのイメージデータを印刷する場合やTrueTypeフォントをそのまま印刷したい場合(300dpi)	300dpi	画面上と同じフォントで印刷
 トナー節約	トナー消費量を約半分にして印刷する場合	600dpi	プリンタフォントに置き換えて高速に印刷
 イメージ1	写真イメージなど複雑なグラフィックスデータを印刷する場合	600dpi	画面上と同じフォントで印刷



お願い

- イメージ1を選択した場合はプリンタフォントやオーバーレイ印字など一部の機能が使用できません。



お願い

- Windows 98をお使いのとき、スーパーファイン、文書／表、クイック文書、トナー節約を選択した場合は、「補助漢字」(JIS X0212) は印字できません。

## スーパーファイン (1200dpi) モードについて

8MB以上の拡張RAMモジュール(オプション)を増設すると、スーパーファインモードで印刷することができます。印刷目的アイコンで「スーパーファイン」を選択すると、高精細1200dpiで、画像の黒い点の目立たないリアルな写真画像や非常になめらかなグラデーションパターンが印刷できます。

「スーパーファイン」を選択した場合は、[デバイスオプション]シートの[スーパーファインモードを有効にする]の項目にチェックマークを付けてください。



お願い

- 1200dpiに対応していないアプリケーションでは、正しく印刷できない場合があります。
- スーパーファイン(1200dpi)の印刷では、ファインモード(600dpi)に比べ、印刷時間がかかります。

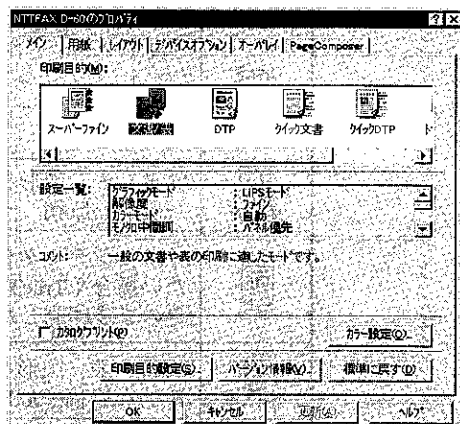
## 印刷目的アイコンの設定手順

印刷目的アイコンはプリンタドライバで設定します。

### 1

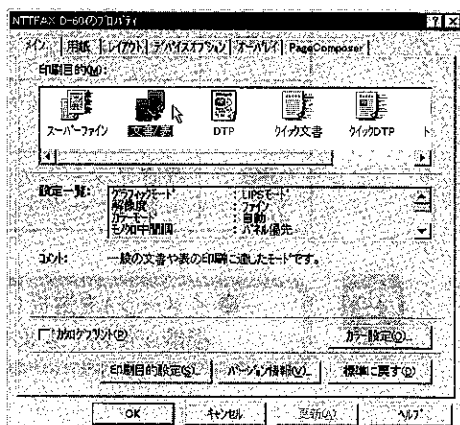
プリンタ名のダイアログボックスを開き、[メイン]シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



### 2

[印刷目的]のアイコン一覧の中から選択し、[OK]ボタンをクリックします。



2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する

## 4) 用紙サイズ・印刷の向きを変えて印刷する

### 使用できる用紙サイズ

用紙サイズは、A4サイズ、B5サイズなどの定型用紙サイズと、ユーザーが独自にサイズを設定できるユーザ定義用紙が使用できます。

用紙サイズ	寸法 (mm)
A3	297.0×420.0
A4	210.0×297.0
A5	148.5×210.0
B4	257.0×364.0
B5	182.0×257.0
はがき	100.0×148.5
レジャー	279.4×431.8
リーガル	215.9×355.6
レター	215.9×279.4
封筒 (洋形4号)	105.0×235.0
ユーザ定義用紙	最小 76.2×127.0 最大 312.0×469.9



お願い

- 上下左右とも用紙の周囲 5mm(封筒は 10mm)の範囲には印刷できません。
- A3 やレジャーより大きい用紙サイズ (A3 フルブリード、レジャーフルブリードなど) に印刷するときは、NTTFAX D-60 に 8MB 以上の増設 RAM モジュール (オプション) を増設する必要があります。



メモ

- ユーザ定義用紙は、NTTFAX D-60 の操作パネルでは[ユーザペーパー]と表示されます。



## 印刷の向きについて

[印刷の向き]を設定することで、用紙を縦長に使う（ポートレイト）か横長に使う（ランドスケープ）かを設定できます。



[印刷の向き]を[縦]に設定したとき  
(ポートレイト)



[印刷の向き]を[横]に設定したとき  
(ランドスケープ)

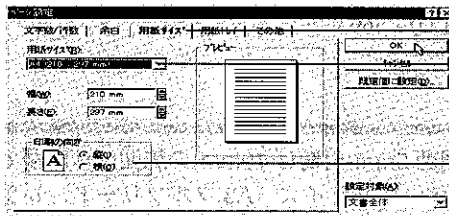
## 用紙サイズ・印刷の向きの設定

通常、用紙サイズと印刷の向きの設定は、アプリケーションソフトの[ファイル]-[ページ設定...]メニューや、[ファイル]-[印刷...]メニューから行います。「アプリケーションソフトから印刷する」(P.16)を参考にしてください。

お使いのアプリケーションソフトによって設定のしかたが異なりますので、詳しくはアプリケーションソフトの説明書をお読みください。

### Microsoft Word 7.0 日本語版から設定するとき

Microsoft Word 7.0 日本語版の[ファイル]-[ページ設定...]メニューを選択します。



このシート名をクリックします。

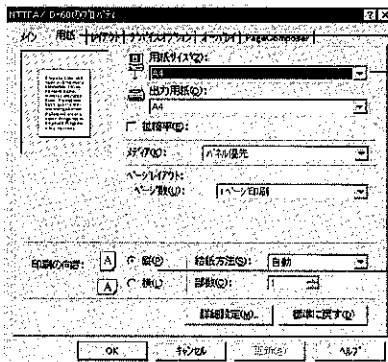
ここで用紙サイズを設定します。

ここで印刷の向きを設定します。

### アプリケーションソフトから設定できないとき

アプリケーションソフトから設定できないときはプリンタドライバで設定します。

「プリンタドライバで設定する(→P.25)」の手順でプリンタ名のダイアログボックスを開き、[用紙]シートで設定します。



このシート名をクリックします。

ここで用紙サイズを設定します。

ここで印刷の向きを設定します。

2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する

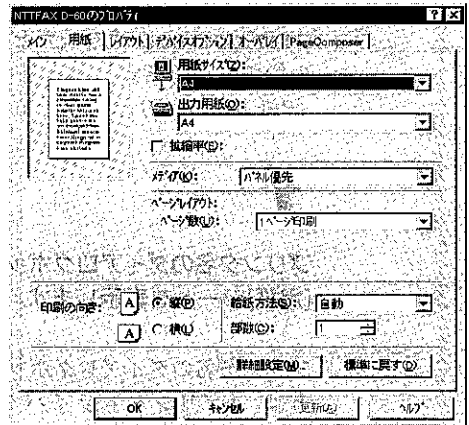
## ユーザ定義用紙の設定手順

ユーザ定義用紙はプリンタドライバから設定します。

### 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、  
[用紙]シートを表示します。

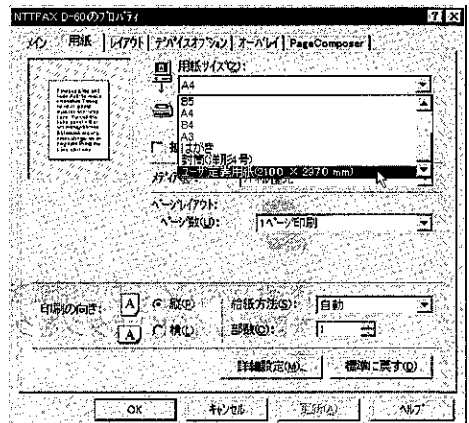
プリンタ名のダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



### 2

[用紙サイズ]一覧で[ユーザ定義用紙]を選択します。

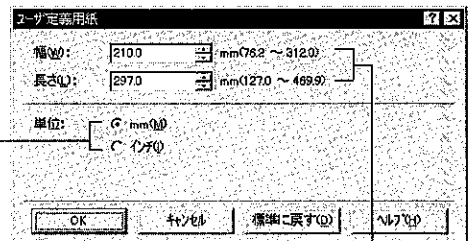
[ユーザ定義用紙]ダイアログボックスが表示されます。



### 3

用紙サイズを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

ここで、入力する数値の単位を選択します。  
mm (0.1mmきざみ) とインチ (0.01インチきざみ) が選べます。



ここで、用紙サイズを入力します。(用紙の幅が用紙の長さを超えないように入力してください。)

## 5 給紙方法を変えて印刷する

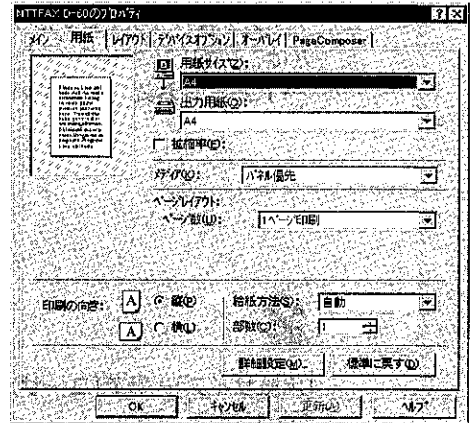
NTTFAX D-60には給紙カセットや手差しトレイなどいくつかの給紙方法があり、用紙の給紙方法を指定して印刷できます。

給紙方法はプリンタドライバで設定します。

### 1

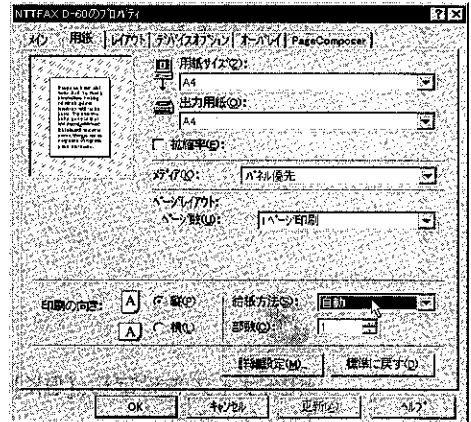
プリンタ名のダイアログボックスを開き、**[用紙]**シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開き方は、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



### 2

**[給紙方法]**でどこから用紙を給紙するかを設定し、**[OK]**ボタンをクリックします。



## 2

第2章  
いろいろな機能を使って印刷する

## 6 原稿を拡大・縮小して印刷する

A4サイズ原稿をB5サイズ用紙に縮小して印刷することや、B5サイズ原稿をA4サイズ用紙に拡大して印刷するといった拡大・縮小印刷が行えます。

定型サイズ原稿を定型サイズ用紙に拡大・縮小して印刷する方法と、任意の倍率で拡大・縮小して印刷する方法があります。



お願い

- アプリケーションソフトで拡大・縮小印刷が設定できる場合は、プリンタドライバの拡大・縮小印刷機能は使わずにアプリケーションソフトで設定してください。

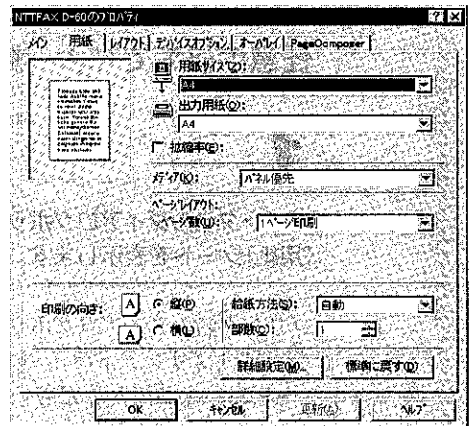
### 定型サイズ原稿を定型サイズ用紙に拡大・縮小

拡大・縮小印刷の設定はプリンタドライバで行います。

#### 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、**[用紙]**シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。

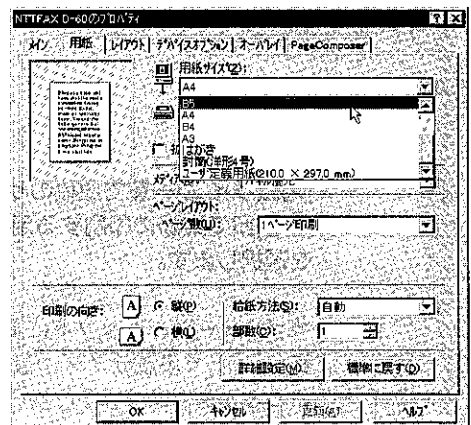


#### 2

**[用紙サイズ]**一覧で作成した原稿のサイズを選択します。

アプリケーションソフトによっては、ここで用紙サイズの設定が行えないことがあります。

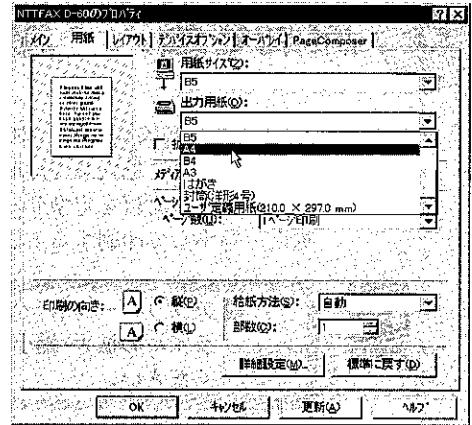
その場合は、アプリケーションソフトの**[ファイル]-[ページ設定...]**メニューや、**[ファイル]-[印刷...]**メニューなどで行えます。



## 3

[出力用紙]で、実際に印刷する用紙のサイズを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[用紙サイズ]と[出力用紙]の設定から自動的に拡大・縮小率が設定されます([拡張率]を設定する必要はありません)。



お願い

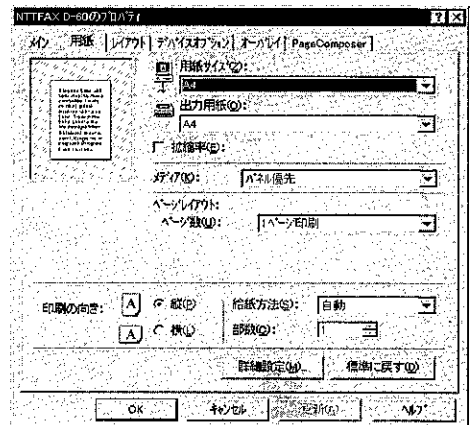
- 50%～200%の範囲に入らない拡大・縮小を設定したときは、設定されている出力用紙に等倍（100%）で印刷されます。

## 任意の倍率で拡大・縮小

## 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、[用紙]シートを表示します。

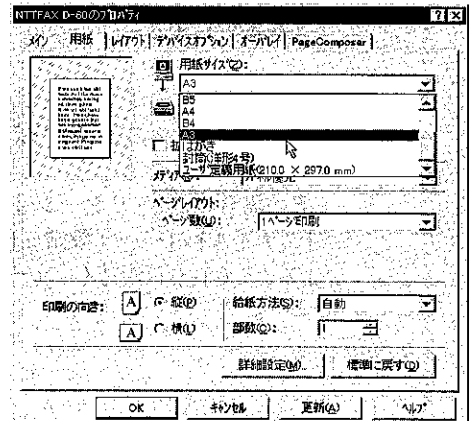
プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



## 2

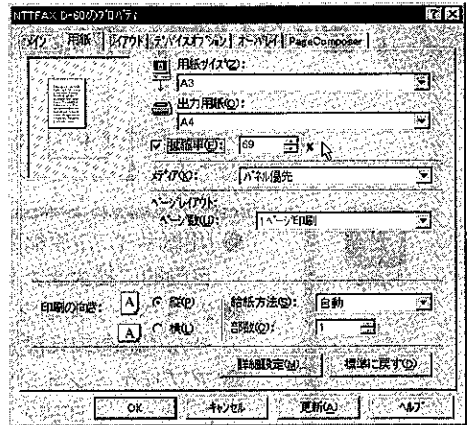
[用紙サイズ]一覧で原稿のサイズを、[出力用紙]で実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

アプリケーションソフトによっては、[用紙]シートで用紙サイズの設定が行えないことがあります。その場合は、アプリケーションソフトの[ファイル]-[ページ設定...]メニューや、[ファイル]-[印刷...]メニューなどで行えます。



## 3

[拡縮率]チェックボックスをチェックします。



## 4

[拡縮率]に倍率を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

[拡縮率]の[▲][▼]をクリックすると、50%～200%の範囲で1%きざみで数字を増減することができます。

## 2

## 7 2・4ページ分の原稿を1枚の用紙に並べて印刷する

2ページ分の原稿や4ページ分の原稿を並べて1枚の用紙に印刷することができます。本書ではこれを2・4ページ印刷と呼んでいます。



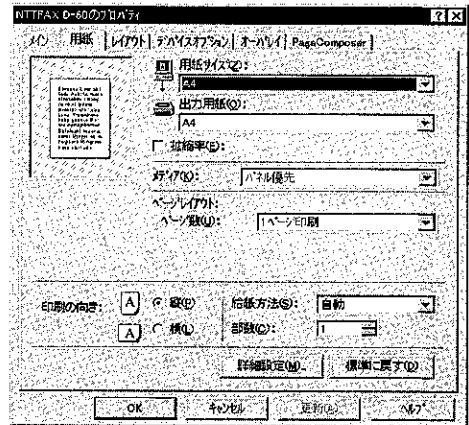
- [用紙サイズ](原稿のサイズ)と[出力用紙](プリンタにセットするサイズ)から自動的に拡大または縮小されます。
- 2・4ページ印刷をするときは、任意の倍率で拡大・縮小することはできません([拡張率]は設定できません)。
- アプリケーションソフトによっては、部単位で印刷する機能がありますが、2・4ページ印刷と同時に使用しないでください。
- [メイン]シートの[印刷目的]アイコンを[イメージ]、または[グラフィックス]シートの[グラフィックモード]で[イメージモード]を選択している場合、2・4ページ印刷は行えません。

2・4ページ印刷の設定はプリンタドライバで行います。

### 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、[用紙]シートを表示します。

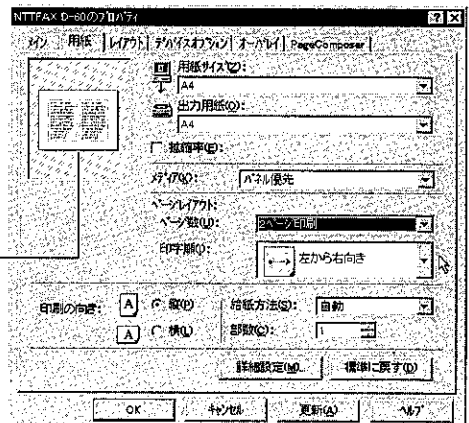
プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



### 2

[ページレイアウト]の[ページ数]から[2ページ印刷]または[4ページ印刷]を選び、[印字順]を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

どのようなレイアウトで用紙に印刷されるかを確認することができます。



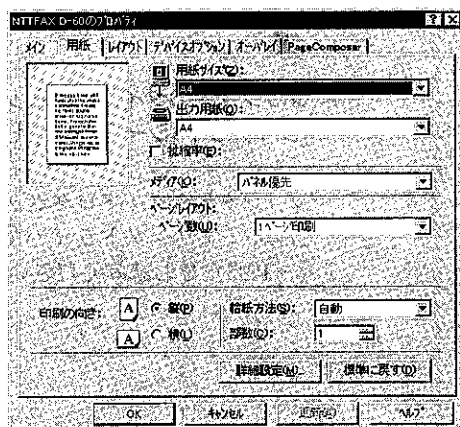
## 8) 複数部数の印刷をする

同じ印刷物を複数部数印刷するには次のように設定します。  
複数部数印刷の設定はプリンタドライバで行います。

### 1

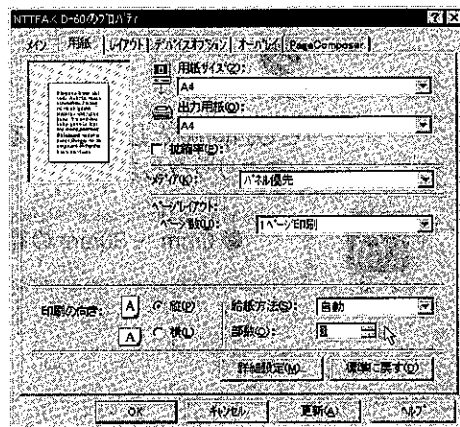
プリンタ名のダイアログボックスを開き、  
[用紙]シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開き  
方は、「プリンタドライバで設定する」  
(→P.25)をお読みください。



### 2

[部数]を設定し、[OK]ボタンをクリック  
します。



メモ

- 1部～255部の範囲で設定できます。

## 2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する



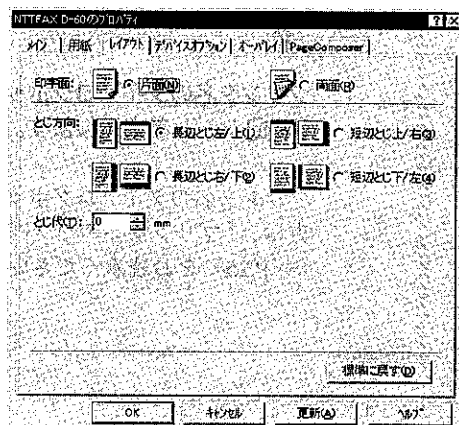
## 9) とじ代を付けて印刷する

とじ代を付けて印刷すると、印刷原稿を移動させ、印刷物の片側に余白を作ります。  
とじ代の設定はプリンタドライバで行います。

### 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、  
[レイアウト]シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開き  
方は、「プリンタドライバで設定する」  
(→P.25)をお読みください。



### 2

[とじ方向]でとじ代を付ける位置を選択し、[とじ代]でとじ代の幅を設定して[OK]ボタンをクリックします。



メモ

- 0mm ~ 30mm の範囲で、1mm きざみで設定できます。

# 10 印刷モードのカスタマイズをする

## 独自の印刷モードを設定する

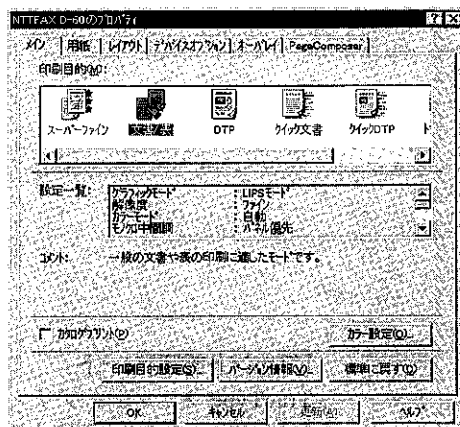
印刷モードは、[メイン]シートの[印刷目的]アイコンを選択するだけで自動的に設定されますが、あらかじめ用意されている[印刷目的]アイコンを使わずに独自の印刷モードを設定することができます。

印刷モードの設定はプリンタドライバで行います。

### 1

プリンタ名のダイアログボックスを開き、[メイン]シートを表示します。

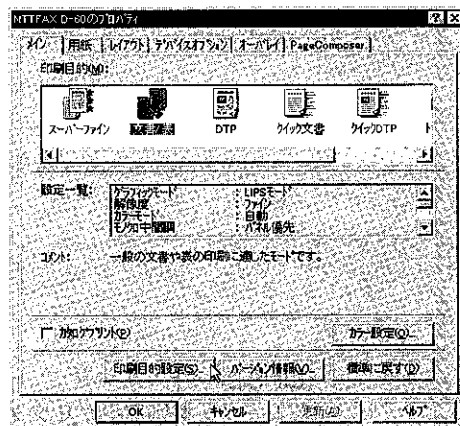
プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



### 2

[印刷目的設定]ボタンをクリックします。

[印刷目的設定]ダイアログボックスが表示されます。



## 2

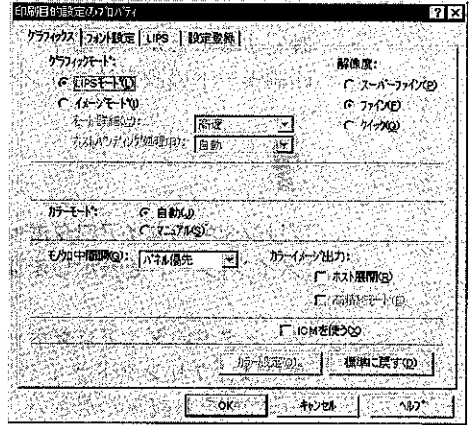
第2章 いろいろな機能を使って印刷する

### 3

[グラフィックス]シート、[フォント設定]シート、[LIPS]シートの各項目の設定を行います。

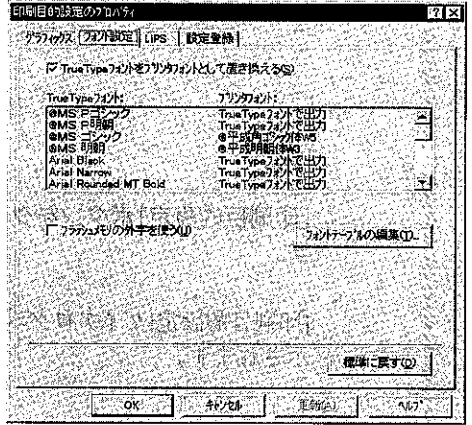
#### [グラフィックス]シート

印刷時のデータ処理解像度やカラー原稿をグレースケールに変換する方法を設定できます。



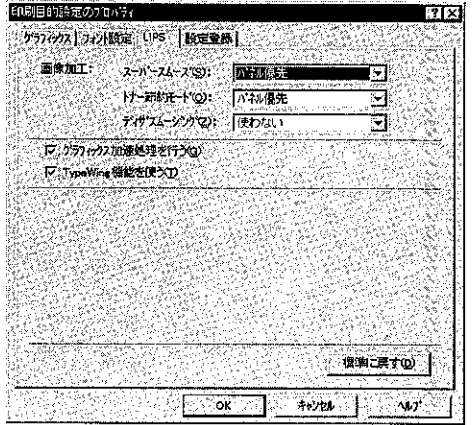
#### [フォント設定]シート

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷する設定などを行います。



#### [LIPS]シート

スムージング処理やプリンタのメモリを有効に使う設定などを行います。



2 第2章 いろいろな機能を使って印刷する

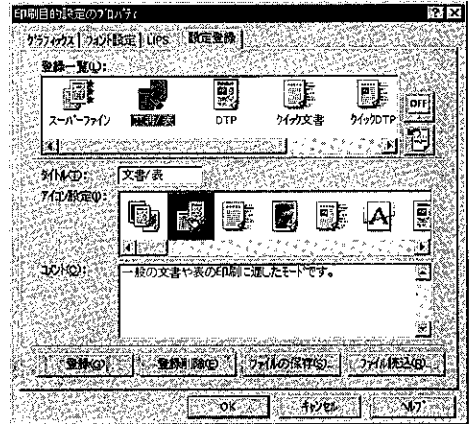
## 独自の印刷目的アイコンを登録する

[グラフィックス]シートと[フォント設定]シート、[LIPS]シートの設定は、[設定登録]シートで印刷目的のアイコンとして登録できます。

次の手順でアイコンに登録しておけば、あらかじめ用意してある印刷目的のアイコンと同じように[メイン]シートでアイコンを選択するだけでワンタッチで設定を呼び出せます。

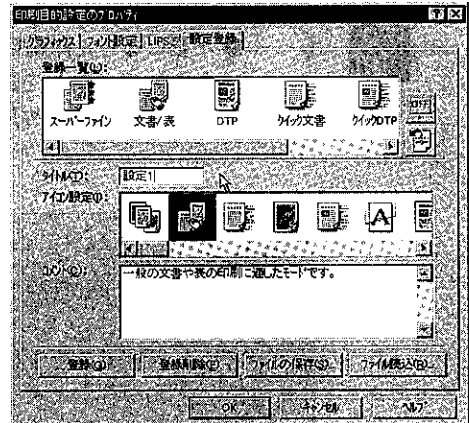
### 1

[設定登録]シートを表示します。



### 2

[タイトル]に、新しい印刷目的アイコンの名称を入力します。以前登録した印刷目的アイコンに上書きする場合は、[登録一覧]から選択することもできます。



お願い

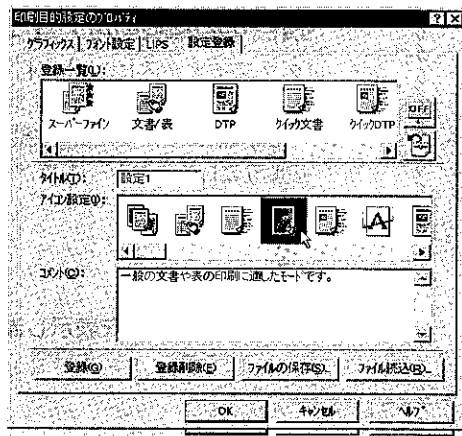
- あらかじめ用意されている印刷目的のアイコンに上書きすることや、同じタイトルで登録することはできません。

## 2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する

## 3

[アイコン設定]からアイコンを選択し、  
[コメント]に保存する設定についての説  
明などを入力します。



## 4

[登録]ボタンをクリックします。

新しい印刷目的のアイコンとして登録されます。



メモ

- 不要になった印刷目的のアイコンは削除することができます。[登録一覧]で削除したいアイコンを選択して[登録削除]ボタンをクリックします。なお、あらかじめ用意されている印刷目的のアイコンは削除できません。

#### 登録した印刷目的のアイコンを他のコンピュータで使用したいとき

新しく登録した印刷目的のアイコンを他のコンピュータで使用したいときは、フロッピーディスクなどにファイルとして保存します。

ファイルに保存するときは、[メイン]シートで保存したい印刷目的のアイコンを選択し、[設定登録]シートを表示して、[ファイルの保存...]ボタンをクリックします。[ファイル名を付けて保存]ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を付けて[保存]ボタンをクリックしてください。

保存したファイルを読み込むときは、[設定登録]シートの[ファイル読込...]ボタンをクリックします。[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されるので、ファイル名を選択して[開く]ボタンをクリックすると、ファイルが読み込まれ[登録一覧]に表示されます。

# 11 データを重ね合わせて印刷する

印刷データの各ページにあらかじめ作成したフォームページを重ね合わせて印刷するオーバーレイ機能があります。

## オーバーレイ機能について

オーバーレイ機能とは、すべてのページに印刷するデータをあらかじめフォームファイルとして作成しておき、実際に印刷するときは印刷原稿と、フォームファイルとを重ね合わせて印刷する機能です。

これにより、印刷するたび、各ページに同じデータを送信する手間を省くことができます。



報告書、給料明細書のフォーマットなどをフォームファイルとして作成しておけば、後はその内容を作成、印刷するだけでフォームファイルと重なったものが印刷されます。



お願い

- [メイン]シートの[印刷目的]アイコンを[イメージ1]、または[グラフィックス]シートの[グラフィック]モードで[イメージモード]を選択している場合、オーバーレイ印字は行えません。
- 印刷する原稿は、フォームファイルと「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「解像度」が同じ設定でなければなりません。
- 複数ページの原稿をオーバーレイ印字すると、すべてのページにフォームが重ね合わされます。

## オーバーレイ印字をするには

オーバーレイ印字をするには、まずフォームファイルを作成します。次に、そのフォームファイルを使ってオーバーレイ印字を行います。

### 「フォームファイルを作成する」

# 1

アプリケーションソフトでフォームファイルの原稿を作成します。

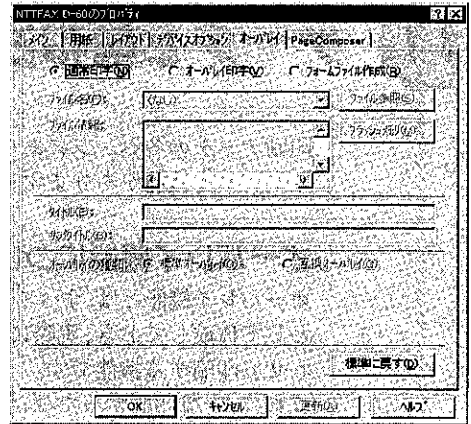
# 2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する

## 2

プリンタ名のダイアログボックスを開き、  
[オーバーレイ]シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」  
(→P.25)をお読みください。



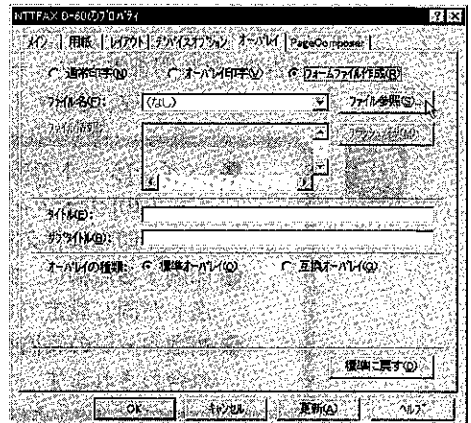
## 3

[フォームファイル作成]を選択します。

## 4

[ファイル参照...]ボタンをクリックします。

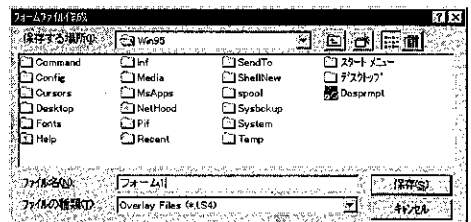
[フォームファイル作成]ダイアログボックスが表示されます。



## 5

[ファイル名:]にフォームファイル名を入力し、  
[保存]ボタンをクリックします。

[オーバーレイ]シートに戻ります。



## 6

必要に応じて、[オーバーレイ]シートの[タイトル]と[サブタイトル]を入力します。

2

第2章  
いろいろな機能を使って印刷する

# 7

[OK]ボタンをクリックします。

以上で、フォームファイルを作成するための設定が終了しました。  
アプリケーションソフトで作成した原稿を、フォームファイルとして保存するためには、アプリケーションソフトで印刷をする必要があります。

# 8

アプリケーションソフトから印刷を実行します。

プリンタからは何も印刷されませんが、この時点でアプリケーションソフトで作成した原稿はフォームファイルとして保存されます。

# 9

フォームファイルを作成したあとは、[オーバーレイ] シートで [通常印字] を選択し、通常の印刷ができる設定に戻しておきます。

「オーバーレイ印字をする」

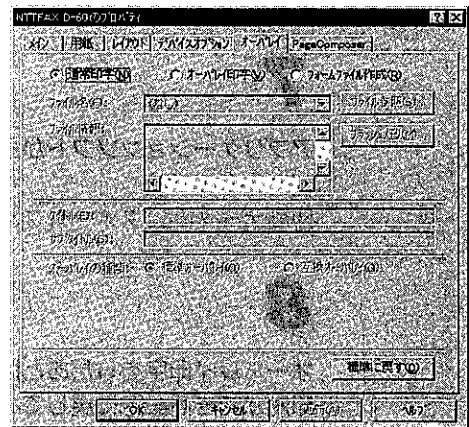
# 1

アプリケーションソフトでデータ部分の原稿を作成します。

# 2

プリンタ名のダイアログボックスを開き、[オーバーレイ]シートを表示します。

プリンタ名のダイアログボックスの開きかたは、「プリンタドライバで設定する」(→P.25)をお読みください。



# 3

[オーバーレイ印字]を選択します。

## 2

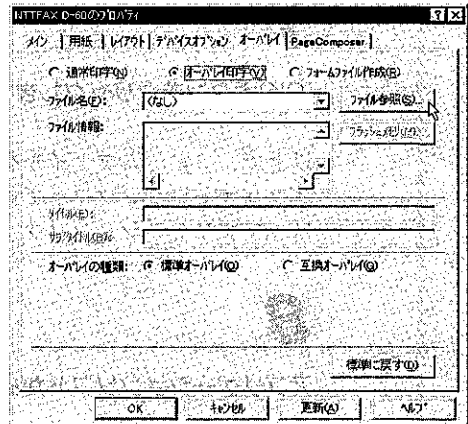
第2章  
いろいろな機能を使って印刷する



## 4

[ファイル参照...]ボタンをクリックします。

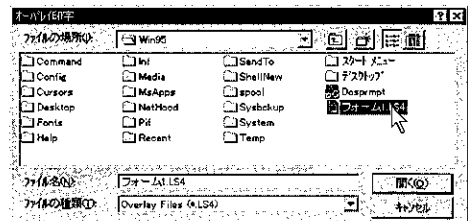
[オーバーレイ印字]ダイアログボックスが開きます。



## 5

使用するフォームファイル名を選択し、[開く]ボタンをクリックします。

[オーバーレイ]シートに戻ります。



## 6

[OK]ボタンをクリックして、設定を終了します。

以上でオーバーレイ印字の準備ができました。実際に印刷を実行するにはアプリケーションソフトから行います。

## 7

アプリケーションソフトから印刷します。

印刷データと、フォームファイルが重ね合わされて印刷されます。

## 8

オーバーレイ印字をしたあとは、[オーバーレイ]シートで [通常印字] を選択し、通常の印刷ができる設定に戻しておきます。

印刷データとフォームファイルを再度重ね合わせて印刷したいときは、上記の手順1～8までの操作をもう一度繰り返してください。

## 12 PageComposerの機能を使って印刷する

PageComposerはプリンタドライバと連携して動作し、アプリケーションからの印刷データに対していろいろな印刷方法を提供します。

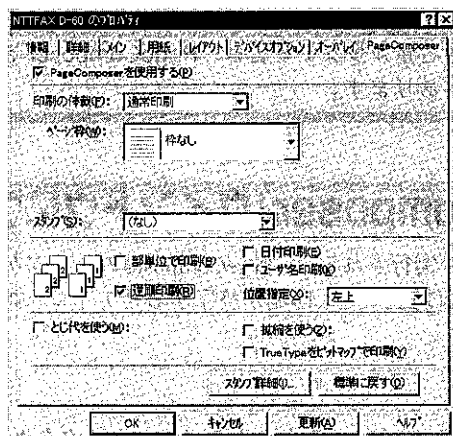


お願い

- PageComposerの機能は、Windows95/98の場合のみ使用できます。
- PageComposerでは、アプリケーションからの出力データがいったんスプールされてから印刷されるため、アプリケーションによっては印刷結果が異なることがあります。詳細は、Readme.txtをご覧ください。

### PageComposerの機能について

PageComposerの機能を使って印刷するときは、はじめにWindows95/98の[スタート]メニューの[設定]—[プリンタ]を選んで、プリンタフォルダからプリンタ名のダイアログボックスを開き、[PageComposer]シートの[PageComposerを使用する]にチェックマークを付けます。([プリンタアイコンからダイアログボックスを開く方法]→P.27を参照)



お願い

- アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプリンタ名のダイアログボックスを開いた場合は、[PageComposer]シートの[PageComposerを使用する]の設定を変更することはできません。

2

第2章 いろいろな機能を使って印刷する

PageComposerの機能を使うと、次のような印刷を行うことができます。

- 部単位印刷：** 例えば、1～3ページまでを部単位で2部印刷すると、1～3ページを順に印刷した後に、さらに続けて1～3ページを印刷します。部単位印刷では、このような順番で指定した部数分繰り返して印刷します。
- 逆順印刷：** 最後のページから先頭ページまで逆の順番で印刷します。
- Nページ印刷：** 連続した複数のページを用紙1枚に配置（縮小）して印刷します。用紙1枚に、2、4、8、9、16ページのページ数を配置することができます。
- ポスター印刷：** 1ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントができます。
- スタンプ印刷：** アプリケーションで作成した文字などに、スタンプ（「COPY」や「社外秘」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。
- 拡大縮小印刷：** PageComposerの機能を使って、拡大縮小印刷を行います。



メモ

- 詳細はヘルプをご覧ください。



お願い

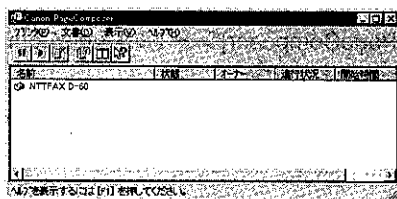
- ハードディスクの空き容量が少ない場合は、PageComposerを利用した印刷が中止されることがあります。

## [Canon PageComposer]ウィンドウについて

PageComposerを利用した印刷が実行されると、PageComposerのインジケータがタスクバーのインジケータ領域の右端に表示され、印刷が終了するとアイコンの表示は自動的に消えます。



タスクバーのインジケータ領域にあるPageComposerのインジケータをクリックすると、[Canon Pagecomposer]ウィンドウが表示されます。



このウィンドウには、プリンタの名称、PageComposerの機能を利用して印刷された文書の文書名、ジョブの状態、印刷されたジョブのオーナー、進行状況、印刷の開始時間の各項目が表示されます。また、このウィンドウを使って、プリンタの印刷処理の一時停止、文書の印刷状態の確認、文書の印刷処理の停止・削除などができます。

## 部単位で印刷するには

### 1

[用紙]シートを表示して[部数]を設定します。

### 2

[PageComposer]シートを表示して、[PageComposerを使用する]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

### 3

[部単位で印刷]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

### 4

[OK]ボタンをクリックします。

## 2

## Nページ印刷するには

用紙1枚に2、4、8、9、16ページのページ数を配置することができます。それぞれの縦横の配置方法は次のとおりです。

- 1枚に2ページを印刷： 縦1×横2（または縦2×横1）
- 1枚に4ページを印刷： 縦2×横2
- 1枚に8ページを印刷： 縦2×横4（または縦4×横2）
- 1枚に9ページを印刷： 縦3×横3
- 1枚に16ページを印刷： 縦4×横4

### 1

[PageComposer]シートを表示して、[PageComposerを使用する]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

### 2

[印刷の体裁]から[Nページ印刷]を選び、[ページ数]、[配置順]、[ページ枠]の各項目を指定します。

### 3

[OK]ボタンをクリックします。



- Nページ印刷と [用紙] シートの [ページ数] の項目を同時に設定しないでください。

## ポスター印刷するには

1ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントができます。指定できる用紙枚数は「2×2」、「3×3」、「4×4」の3とおりです。

### 1

[PageComposer]シートを表示して、[PageComposerを使用する]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

### 2

[印刷の体裁]から[ポスター印刷]を選び、[用紙枚数]を指定します。

### 3

[OK]ボタンをクリックします。



- ポスター印刷を行うときは、スタンプ印刷の機能を設定することはできません。
- [用紙]シートで拡大縮小印刷を設定している場合、ポスター印刷の設定は無効になり、通常印刷が行われます。

---

## 2

第2章  
いろいろな機能を使って印刷する

## 第3章

# Windows NT4.0 から印刷するには

ここでは、Microsoft® Windows NT® Version 4.0 日本語版をお使いの方のために、プリンタドライバ、PrintBuddy II をインストールしてから印刷するまでの手順などを説明します。



# 1 印刷するときに必要な作業

NTTFAX D-60の設置が完了したら、次は印刷に必要なソフトウェアのインストールと設定作業を行う必要があります。

アプリケーションソフトから印刷するために必要な作業は、次のとおりです。

## NTTFAX D-60を設置したあとに行う作業

### ① プリンタドライバをインストールする P.58

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときには必ず必要なソフトウェアです。同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

### ② Print Buddy IIをインストールする P.61

Print Buddy IIは、NTTFAX D-60をより快適に使用するためのソフトウェアです。同梱のCD-ROMからコンピュータにインストールして使用できるようにします。

Print Buddy IIについては、「Print Buddy IIとは」(→P.19)をお読みください。

## 印刷のたびに行う作業

### ① 印刷設定をする P.67

用紙サイズ、原稿のサイズ、印刷部数、印刷の品質などを設定します。この設定が適切でないと、期待した印刷結果が得られないことがあります。

### ② 印刷する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

## 2) 必要なシステム環境



お願い

- NTTFAX D-60 の場合、Print Buddy II の機能を使用するためには、プリントサーバ (ネットワークボード) として、LAN プリンタユニット (オプション) が必要です。
- NTTFAX D-60 がパソコンにローカル接続されている場合、Print Buddy II は使用できません。
- Microsoft Windows NT 英語版では使用できません。

Windows NT 4.0 用プリンタドライバは、以下の環境でご利用になれます。

ソフトウェア：	Microsoft Windows NT Workstation Version 4.0 日本語版、 Microsoft Windows NT Server Version 4.0 日本語版のいずれかのオペレーティングシステム
ハードウェア：	Intel 社製 CPU i80486 (25MHz) 以上、Pentium、Pentium Pro を搭載した、上記の Windows NT が動作するコンピュータ

Windows NT 4.0 用 Print Buddy II は、以下のシステム環境でご利用になれます。

ソフトウェア：	Microsoft Windows NT Workstation Version 4.0 日本語版、 Microsoft Windows NT Server Version 4.0 日本語版のいずれかのオペレーティングシステム
ハードウェア：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CPU： Intel 社製 CPU i80486/Pentium 系</li> <li>・ メモリ： 16Mbyte 以上</li> <li>・ 画面サイズ： 640×480ドット以上の表示解像度をもつディスプレイ</li> <li>・ カラー： 256色以上の表示色数をもつディスプレイ</li> <li>・ ハードディスク容量： 動作時に 10M バイト以上が必要</li> </ul>
ネットワークプロトコル (ネットワークプリンタに対して使用する場合)：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TCP/IP プロトコル</li> </ul>
*ここでのネットワークプロトコルとは、プリンタサーバとコンピュータ間のプロトコルであり、コンピュータ間のプロトコルではありません。	

3

第3章 Windows NT 4.0 から印刷するには

## 3) プリンタドライバをインストールする

アプリケーションソフトから印刷するには、お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。この作業をインストールと呼びます。以下の手順でインストールを行ってください。



お願い

- 以前のバージョンのLIPS IVプリンタドライバがインストールされている場合は、必ずそれらのプリンタドライバを削除してから、本プリンタドライバをインストールしてください。

### 1

Windows NT 4.0 を起動し、Administrators のメンバーとしてログオンします。



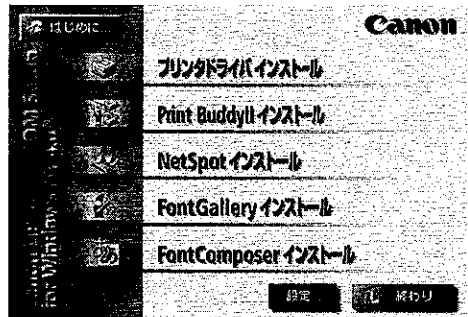
お願い

- プリンタドライバの組み込みを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

### 2

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

次のCD-ROMメニューが自動的に表示されます。



メモ

- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

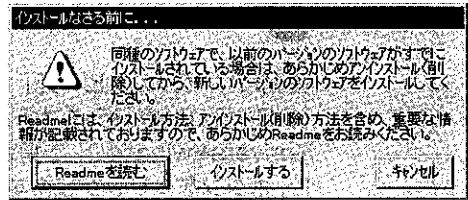
## 3

CD-ROMメニューの[プリンタドライバインストール]ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して[同意します]ボタンをクリックしてください。

[インストールをなさる前に]ダイアログボックスが表示されます。

必要に応じてReadmeをお読みください。



## 4

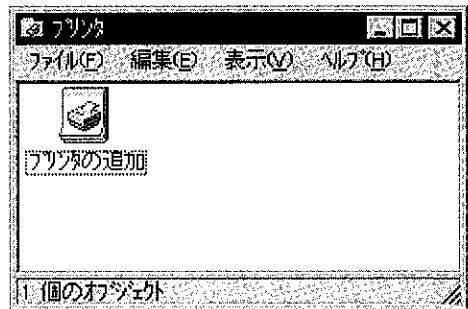
[インストールする]ボタンをクリックします。

[プリンタ]フォルダが表示されます。

## 5

[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が起動します。



## 6

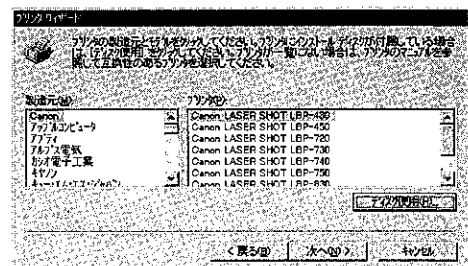
画面の案内にしたがってインストールを続けます。



## 7

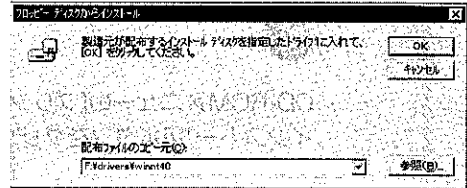
次の画面で、[ディスク使用] ボタンをクリックします。

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されます。



# 8

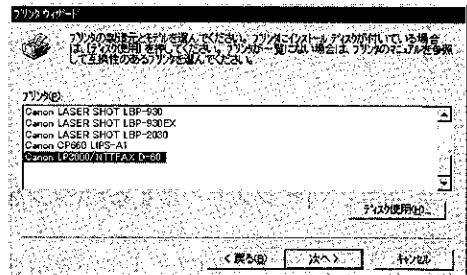
[配布ファイルのコピー元] で [CD-ROMのドライブ名: ¥drivers¥winnt40] を指定して、[OK] ボタンをクリックします。[参照] ボタンをクリックして指定することもできます。



例：FドライブにCD-ROMをセットした場合

# 9

次の画面で「Canon LP3000/NTTFAX D-60」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



お使いの環境によっては、現在のドライバを使用するか、新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されることがあります。この場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。

# 10

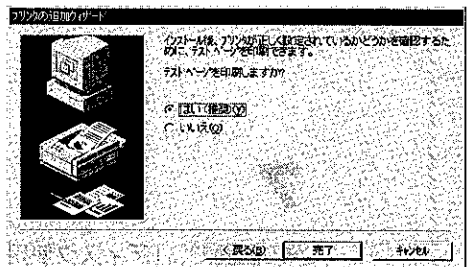
画面の案内にしたがって、インストールを続けます。



右の画面でプリンタ名称を入力することができます。本書では、以降プリンタ名に「NTTFAX D-60」と入力したものととして説明します。

# 11

次の画面で、テスト印刷についての項目を指定し、[完了] ボタンをクリックします。



3 第3章 Windows NT4.0から印刷するには

## 4) Print Buddy IIをインストールする

ユーザが管理者 (Administrator) の権限を持っているかどうかによって、Print BuddyIIのインストール方法が異なります。インストール方法には「管理者用インストール」と「一般ユーザ用インストール」(→P.64) があります。

### 管理者 (Administrator) 用インストール

管理者用のインストールでは、Print BuddyIIのサーバ機能モジュールと、プリンタのユーザインタフェースモジュールがインストールされます。ネットワーク環境でコンピュータをプリンタサーバとして使用している場合などは、次の「管理者用インストール」を行います。

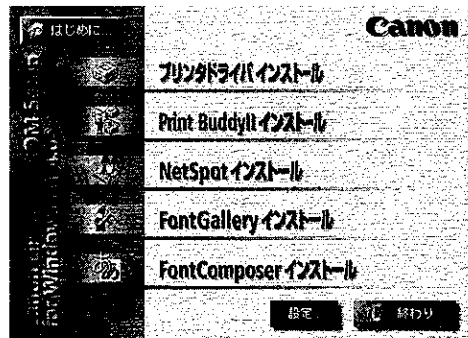
#### 1

Windows NT4.0 を起動し、Administrators のメンバーとしてログオンします。

#### 2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

次の CD-ROM メニューが自動的に表示されます。



- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

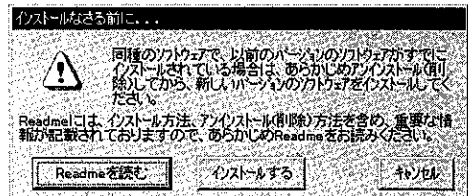
#### 3

CD-ROM メニューの [Print Buddy II インストール] ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して [同意します] ボタンをクリックしてください。

[インストールをなされる前に] ダイアログボックスが表示されます。

必要に応じて Readme をお読みください。

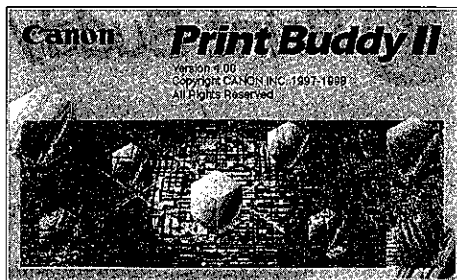


## 4

[インストールする]ボタンをクリックします。

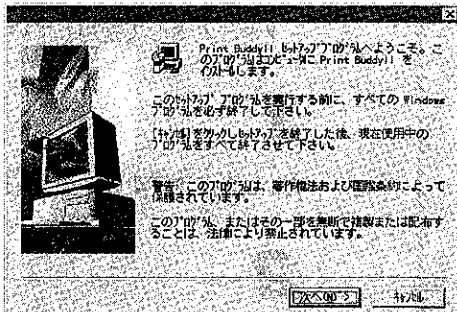
Print Buddy II インストーラが起動します。

セットアップの準備が開始され、[Print Buddy IIへようこそ]ダイアログボックスが表示されます。



## 5

[Print Buddy IIへようこそ]ダイアログボックスの記載を読み、[次へ]ボタンをクリックします。



## 6

[インストールモジュールの選択]ダイアログボックスが表示されます。

「Print BuddyII 管理者モード」、「Print BuddyII 一般ユーザモード」を別々に指定することもできます。

・「Print BuddyII 管理者モード」→サーバ機能モジュール

・「Print BuddyII 一般ユーザモード」→ユーザインタフェースモジュール

[次へ] ボタンをクリックします。



## 7

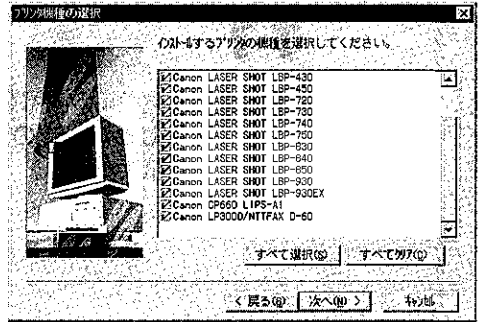
[プリンタ機種を選択] ダイアログボックスでインストールする機種を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

初期状態では、すべての機種が選択されています。

プリンタの機種名の前のチェックマークをクリックして、選択を解除したり、選択し直すことができます。

NTTFAX D-60 の場合は、

「Canon LP3000/NTTFAX D-60」を選択してください。



## 8

[インストール先の入力] ダイアログボックスで、インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

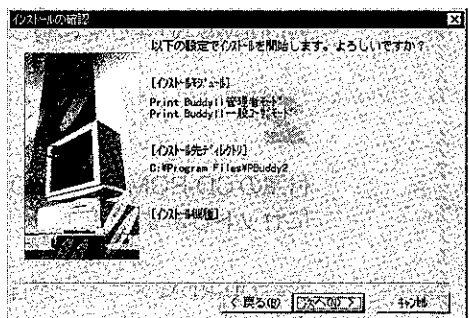
[参照] ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することもできます。



## 9

[インストールの確認] ダイアログボックスで設定を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

[次へ] ボタンをクリックすると、「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。セットアップを続ける場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。



## 10

Print Buddy II のインストールが開始されます。

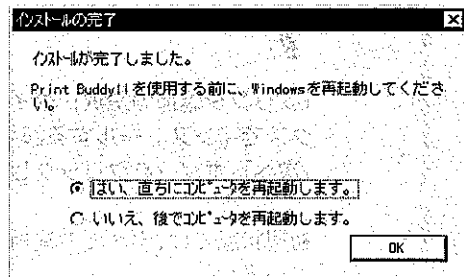
インストールが終了すると、「README ファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして、README ファイルの記載を読んでください。



# 11

README ファイルの内容を確認して、ファイルを閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。



# 12

[OK] ボタンをクリックします。

Print Buddy II を使用する前に、Windows を再起動してください。これでインストールは終了です。

## 3

## 一般ユーザ用インストール

一般ユーザ用インストールでは、プリンタの機種別情報のモジュールだけがインストールされます。ネットワーク環境でコンピュータをクライアントとして使用している場合などには、「一般ユーザ用インストール」を行います。

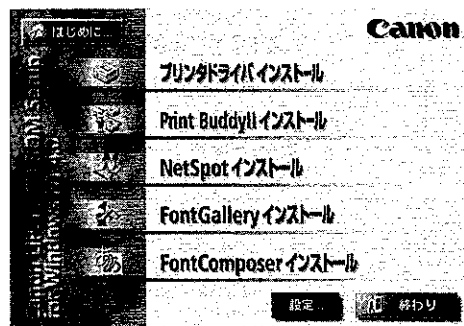
### 1

Windows NT4.0 を起動し、ログオンします。

### 2

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

次の CD-ROM メニューが自動的に表示されます。



メモ

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある Autorun.exe ファイルをダブルクリックして起動してください。

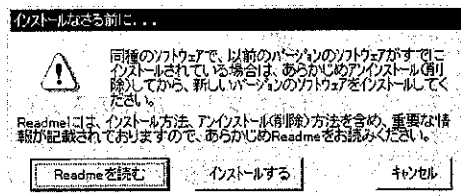
## 3

CD-ROMメニューの[Print Buddy II インストール]ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して[同意します]ボタンをクリックしてください。

[インストールをなされる前に]ダイアログボックスが表示されます。

必要に応じてReadmeをお読みください。

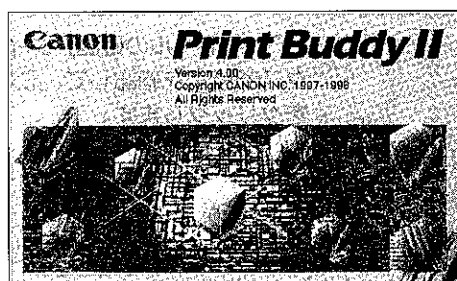


## 4

[インストールする]ボタンをクリックします。

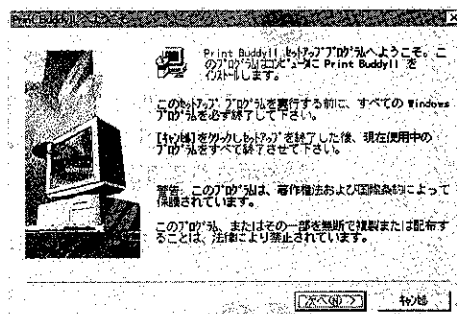
Print Buddy II インストーラが起動します。

セットアップの準備が開始され、[Print Buddy II へようこそ]ダイアログボックスが表示されます。



## 5

[Print Buddy II へようこそ] ダイアログボックスの記載を読み、[次へ] ボタンをクリックします。

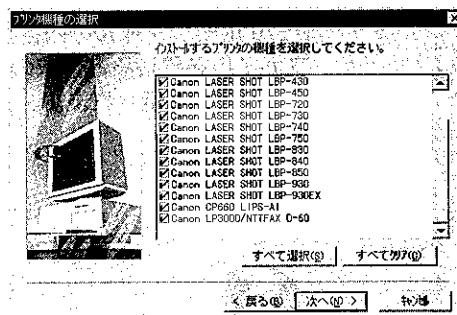


## 6

[プリンタ機種の選択] ダイアログボックスでインストールする機種を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

プリンタの機種名の前のチェックボックスをクリックして、選択を解除したり、選択し直すことができます。

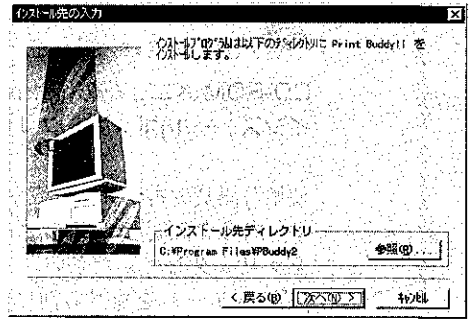
NTTFAX D-60 の場合は、「Canon LP3000/NTTFAX D-60」を選択してください。



## 7

[インストール先の入力] ダイアログボックスで、インストール先を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

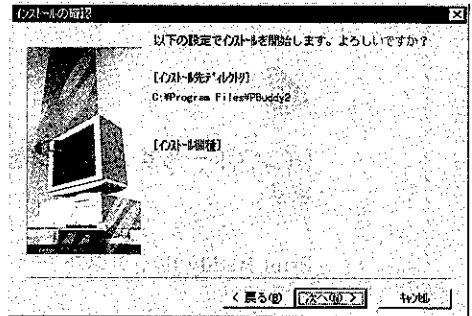
[参照] ボタンをクリックして、インストール先のディレクトリを別に指定することもできます。



## 8

[インストールの確認] ダイアログボックスで設定を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

[次へ] ボタンをクリックすると、「セットアップ開始後は中止することができません。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。セットアップを続ける場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。



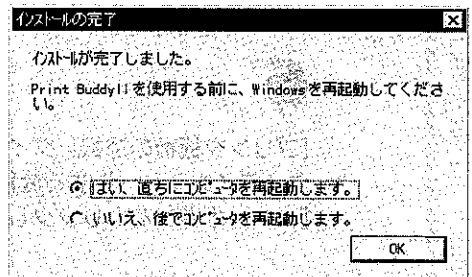
## 9

Print Buddy II のインストールが開始されます。インストールが終了すると、「README ファイルを読みますか?」というメッセージが表示されます。

[はい] ボタンをクリックして、README ファイルの記載を読んでください。

## 10

README ファイルの内容を確認して、ファイルを閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。



## 11

[OK] ボタンをクリックします。

Print Buddy II を使用する前に、Windows を再起動してください。これでインストールは終了です。

## 5) いろいろな機能を設定する

プリンタドライバの設定をすることで、いろいろな機能を使って印刷を行うことができます。プリンタドライバの設定をするには、次の3つの方法があります。なお、プリンタドライバの各機能についてはヘルプを参照してください。

設定の種類	設定方法	設定の内容	必要なアクセス権
印刷時のドキュメント設定	アプリケーションソフトからプリンタドライバの設定画面を開く	印刷するドキュメントに関する設定	ドキュメントの印刷権
ドキュメントの既定値の設定	[プリンタ]フォルダの[ファイル]-[ドキュメントの既定値]メニューを選択する	全ドキュメントに関する標準設定	フルコントロールアクセス権
プリンタの設定	[プリンタ]フォルダの[ファイル]-[プロパティ]メニューを選択する	プリンタに関する設定	フルコントロールアクセス権



メモ

- 「印刷時のドキュメントの設定」と「ドキュメントの既定値の文書設定」で設定できる項目は同じです。設定した内容が、今回の印刷時のみ有効か、毎回有効になるかが異なります。
- デフォルトで文書の印刷権を持っているのは全グループのメンバーです。また、フルコントロールアクセス権を持っているのは Administrators と Power Users のメンバーです。(Windows NT Server をお使いの場合は、Administrators、Print Operators、Server Operators のメンバー)

## 印刷時の文書設定をする

### 1

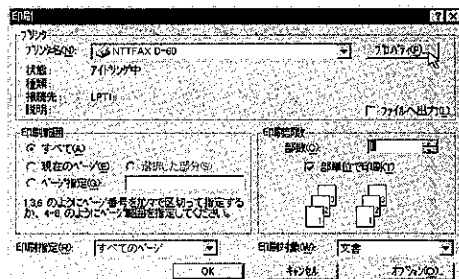
アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。(アプリケーションによってコマンド名は異なります。)

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

### 2

[プリンタ名] にお使いのプリンタ名が表示されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

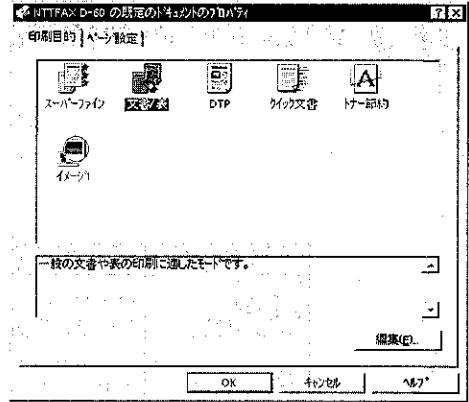
プリンタドライバの設定画面が表示されます。



### 3

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。



## 文書の標準設定をする

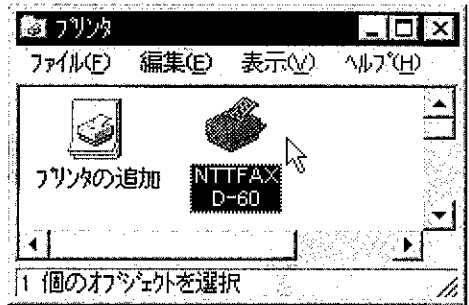
### 1

[スタート] メニューの [設定] - [プリンタ] メニューを選択します。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

### 2

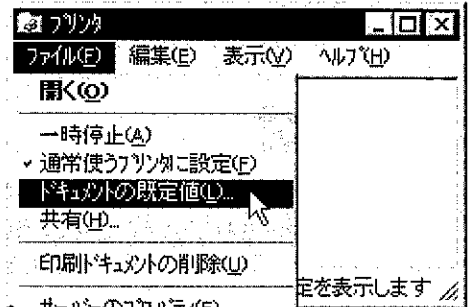
印刷設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。



### 3

[ファイル] メニューの [ドキュメントの既定値] を選択します。

プリンタドライバの設定画面が表示されます。



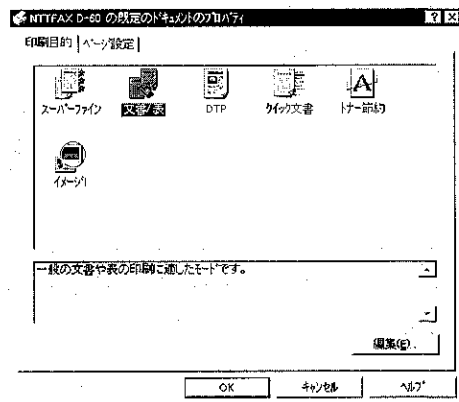
3

第3章 Windows NT4.0から印刷するには

## 4

プリンタドライバの設定画面の各シートで印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

標準の印刷設定が変更されます。



## プリンタの設定をする

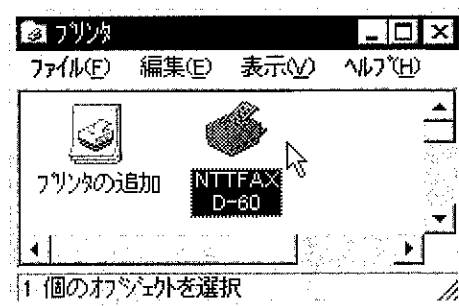
## 1

[スタート] メニューの [設定] - [プリンタ] メニューを選択します。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

## 2

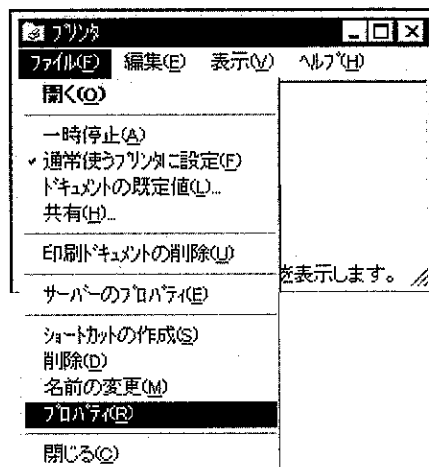
プリンタの設定を変更したいプリンタのアイコンを選択します。



## 3

[ファイル] メニューの [プロパティ] を選択します。

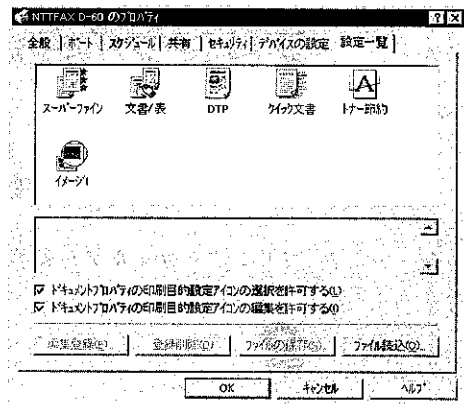
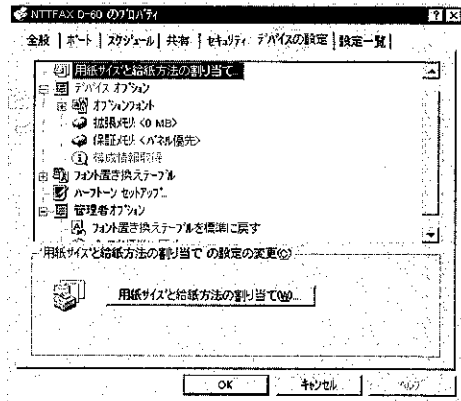
プリンタの設定画面が表示されます。



# 4

プリンタの設定画面の「デバイスの設定」シートと「設定一覧」シートで、印刷に関する項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

プリンタの設定が変更されます。



- [印刷目的のプロパティ]ダイアログボックスの[詳細設定]シートの[グラフィックモード]が[イメージモード]に設定されている場合、原稿中の細い実線が点線になったり、出力されないことがあります。このときは、[詳細設定]シートの[カラーモード]で[マニュアル]を選択してから[詳細設定]ボタンを押し、[カラーモードのプロパティ]ダイアログボックスの[カラーマッチング]シートで、[イメージを補正]の項目を[鮮やかさ優先]に設定してから印刷し直してください。

## 第4章

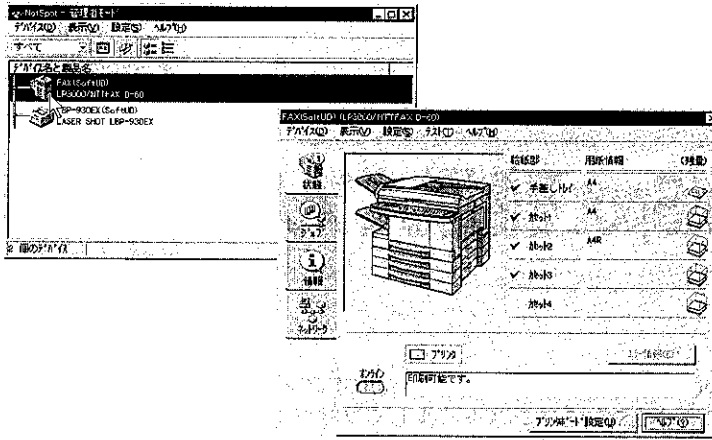
# NetSpotを使用してプリンタの管理するには

NetSpotは、プリンタの管理を行うためのソフトウェアです。  
ここでは、NetSpotをインストールしてプリンタの管理を行う手順などを説明しています。



# 1) NetSpotの特長

NetSpotは、プリンタの管理を行うためのユーティリティソフトです。NetSpotを起動すると、NetSpotから管理できるプリンタの一覧が表示されます。一覧の中から管理するプリンタを選択すると、プリンタの詳細情報が画面に表示され、プリンタの現在の状態を表示することや、プリンタの各種設定などが行えます。



- NTTFAX D-60がパソコンにローカル接続されている場合、NetSpotは使用できません。
- NetSpotの機能を使用するためには、プリントサーバ（ネットワークボード）として、LANプリンタユニット（オプション）が必要です。

## 2) 必要なシステム環境

NetSpot は、以下のシステム環境でご利用いただけます。

OS :	Microsoft Windows 95/98 日本語版 Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版 Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
コンピュータ :	IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ
メモリ :	16MB 以上
ハードディスク :	12MB 以上の空き領域
画面 :	640 × 480 16色以上 (256色以上を推奨)



お願い

- NetSpot Windows NT 4.0 版をお使いのときは、以下のサービスパックをインストールしてください。
  - ・ Windows NT 4.0 : Service Pack 3 以降
- 日本語以外の OS には対応していません。



お願い

- NetSpot から NTTFAX D-60 の設定・状況表示をするためには、オプションの LAN プリンタユニットを使用してコンピュータと接続している必要があります (パラレルインタフェースを経由して接続している場合や、他のコンピュータを経由して接続している場合などは、NetSpot から NTTFAX D-60 の管理をすることができません)。さらに、以下の NetSpot が対応しているネットワークプロトコルとプロトコルスタックを使用する必要があります。(使用しているネットワークプロトコル、プロトコルスタックが分からないときは、ネットワーク管理者に相談してください)

OS	プロトコル	プロトコルスタック (クライアントソフトウェア)
Windows 98	NetWare	Windows 98 に付属の NetWare クライアント
	TCP/IP	Windows 98 に付属の TCP/IP プロトコル
Windows 95	NetWare	NetWare Client32 for Windows 95 または IntranetWare Client for Windows 95 または Windows 95 に付属の NetWare クライアント
	TCP/IP	Windows 95 に付属の TCP/IP プロトコル
Windows NT 4.0	NetWare	IntranetWare Client for Windows NT または Windows NT に付属の NetWare クライアント
	TCP/IP	Windows NT に付属の TCP/IP プロトコル

- NetSpot を NetWare ネットワーク上で使用する場合は、NetWare サーバとして、「NetWare 3.12J / 4.1J / 4.11J」のいずれかを使用してください。また、Windows 95 / NT 4.0 をお使いの場合は、プロトコルスタックとして、NetWare Client32 または IntranetWare Client をお使いになることをおすすめします。
- NetWare Client32 または IntranetWare Client 以外のクライアントソフトウェアを使用したときは、NetSpot の以下の機能が利用できません。  
NetWare へのログイン / ログアウト ([設定] - [ログイン...] / [ログアウト...] メニュー)  
NetWare プリントサービス ([設定] - [NetWare プリントサービス...] メニュー)  
NetWare ジョブの表示 ([ジョブ] シート)

## 3) NetSpot をインストールする

NetSpot をインストールするには、次の手順で行います。



お願い

- 以前のバージョンのNetSpotがインストールされている場合は、削除してから本バージョンのNetSpotをインストールしてください。
- インストールの前に、NetSpotを管理者モードで使用するか一般ユーザモードで使用するかを決める必要があります。

### 管理者モードと一般ユーザモード

NetSpotには、管理者モードと一般ユーザモードの2つの動作モードがあります。管理者モードと一般ユーザモードを使い分けるために、2つのインストーラを用意しています。

**管理者用インストーラ：** このインストーラを使用すると、管理者モードと一般ユーザモードの両方が使用できるNetSpotがインストールされます。

**一般ユーザ用インストーラ：** このインストーラを使用すると、一般ユーザモードのみ使用できるNetSpotがインストールされます。

#### 管理者モード

管理者モードは、ネットワークプリンタの管理者が使用するモードです。一般ユーザモードで使用できる機能のほかにネットワークの設定などの機能が利用できます。NetSpotを管理者モードで使用するには、管理者用インストーラでインストールしてNetSpotの起動時に正しいパスワードを入力してください。

#### 一般ユーザモード

一般ユーザモードは、通常のユーザが使用するモードです。プリンタの状態を調べる機能などが利用できます。

管理者用インストーラでインストールしたNetSpotを一般ユーザモードで使用するには、起動時にパスワードの入力画面で[一般ユーザモードで起動する]をチェックしてください。また、一般ユーザ用インストーラでインストールしたNetSpotは、常に一般ユーザモードで起動します。

## Windows 95/98/NT 4.0 上にインストールする



お願い

- Windows NT 4.0 をお使いの場合は、NetSpot をインストールする前に Administrators のメンバーとしてログオンしておいてください。

### 1

付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM メニュー画面が自動的に表示されます。



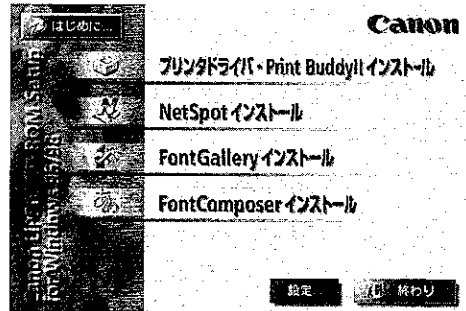
メモ

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROM メニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、[マイ コンピュータ] から CD-ROM のフォルダを開いて AutoRun アイコンをダブルクリックして起動してください。

### 2

CD-ROM メニューの [NetSpot インストール] ボタンをクリックします。

インストーラを選択する画面が表示されます。



### 3

管理者モードと一般ユーザモードの両方で使用できる NetSpot をインストールするときは、[管理者モード] ボタンをクリックします。一般ユーザモードでのみ使用できる NetSpot をインストールするときは、[一般ユーザモード] ボタンをクリックします。

使用許諾契約に同意するかしないかを選択する画面が表示されます。



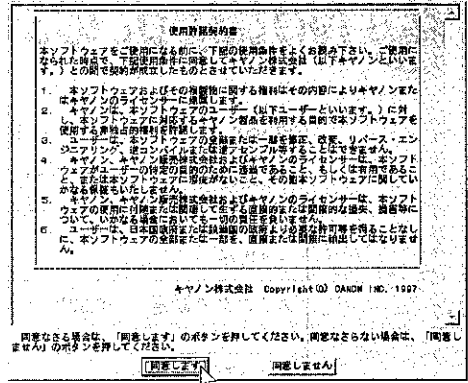
## 4

第4章 NetSpot を使用してプリンタの管理をするには

## 4

使用許諾契約書の内容を確認して[同意します] ボタンをクリックします。

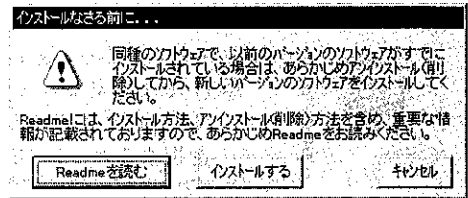
Readmeを読むかどうかを選択する画面が表示されます。



## 5

必要に応じてReadmeを読み、[インストールする] ボタンをクリックします。

インストールプログラムが起動します。以下、画面の指示にしたがってインストールしてください。

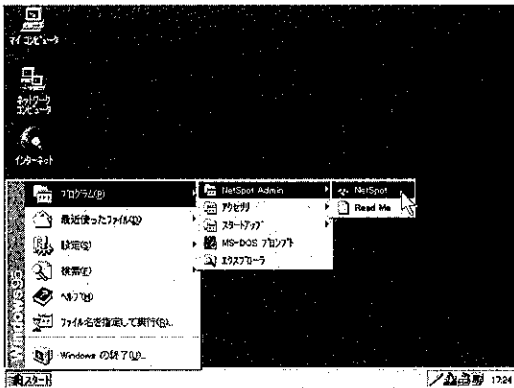


お願い

- プロトコルを選択する画面では、NetSpotで使用するネットワークプロトコルを選択します。お使いの環境に合わせて [NetWare] または [TCP/IP] を選択してください。[なし] を選択すると NTTFAX D-60 が認識できなくなります。

インストールが完了したら、NetSpotを使用できます。

NetSpotを起動するときは、[スタート] メニューの [プログラム] - [NetSpot Admin] - [NetSpot] または [プログラム] - [NetSpot User] - [NetSpot] を選択してください。



メモ

- インストール完了後、NetSpotインストーラを起動して [デバイスの追加] を選択すると、NetSpotで管理できるデバイスの種類を追加または削除することができます。

## 4 NetSpotのおもな機能

NetSpotから利用できるおもな機能には、以下のようなものがあります。

機能	説明
プリンタの状態の表示 (→P.79)	プリンタエラーの発生状況など、各プリンタの現在の状態を表示します。
プリンタの設定 (→P.82)	プリンタの操作パネルで行う各種設定をNetSpot上で行います。
ネットワークの設定 (→P.84)	プリントアプリケーションの設定など、ネットワークの設定を行います。



お願い

- NetSpotの詳しい使用法は、NetSpotのヘルプを参照してください。NetSpotのヘルプは、NetSpotを起動して [ヘルプ] - [目次] メニューを選択するか、[ヘルプ] ボタンをクリックすると表示されます。

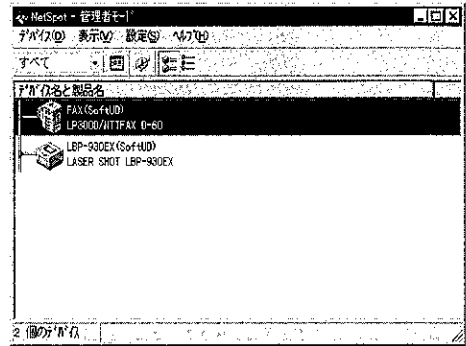
## 5) プリンタの状態を調べる

NetSpot では、各プリンタの状態を調べることができます。

### 1

NetSpot を起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。

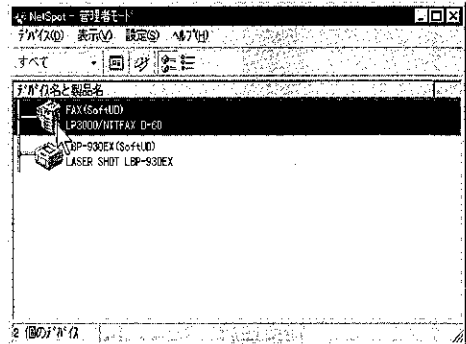


- 設定をするプリンタのアイコンが表示されないときは、NetSpotのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

### 2

状態を調べるプリンタのアイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が、いくつかのシートにわかれて表示されます。

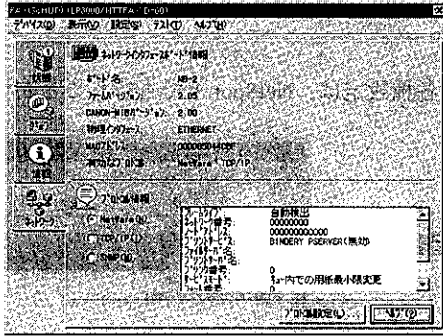


## 4





## [ネットワーク] シート



[ネットワーク] シートには、ネットワークの情報が表示されます。  
 (一般ユーザモードで使用しているときは、[ネットワーク] シートは表示されません)

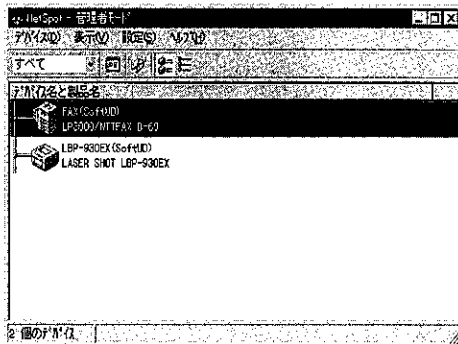
## 6) プリンタの設定をする

プリンタの操作パネルから行う各種設定は、NetSpot 上でも行うことができます。

### 1

NetSpot を管理者モードで起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



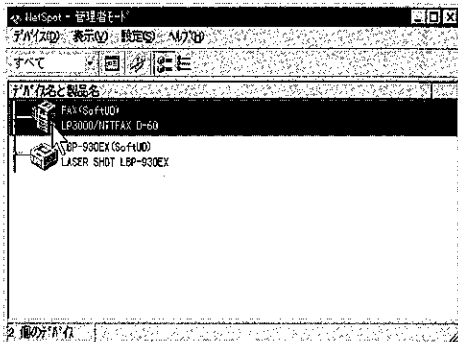
お願い

- 設定をするプリンタのアイコンが表示されないときは、NetSpotのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。

### 2

設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。

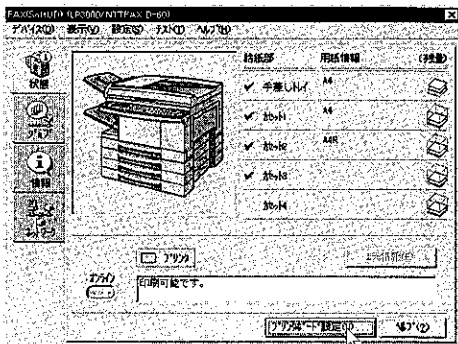
プリンタの詳細な情報が表示されます。



### 3

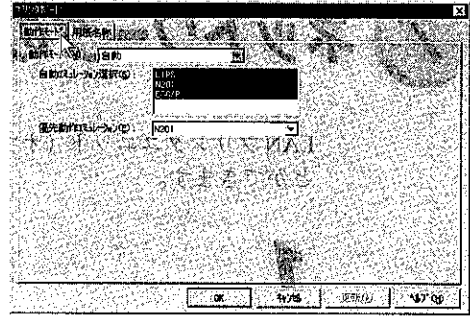
[状態] シートを表示し [プリンタボード設定...] ボタンをクリックするか、[設定] - [プリンタボード...] メニューを選択します。

[プリンタボード] ダイアログボックスが表示されます。



## 4

プリンタの設定は、いくつかのシートに分類されています。設定したい項目があるシートを表示します。



## 5

各項目の設定をします。各項目の説明は、[ヘルプ] ボタンをクリックしてNetSpotのヘルプを参照してください。

## 6

[OK] ボタンまたは [更新] ボタンをクリックし、設定を有効にします。

## 4

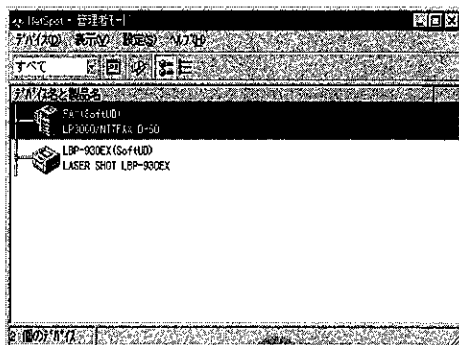
# 7 ネットワークの設定をする

LANプリンタユニット (オプション) のネットワーク設定は、NetSpotを使って行うことができます。

## 1

NetSpotを管理者モードで起動します。

デバイスリストにNetSpotから参照できるプリンタの一覧が表示されます。



お願い

- 設定をするプリンタのアイコンが表示されないときは、NetSpotのヘルプの「トラブルシューティング」を参照してください。
- NetSpotの管理者モードについての詳細は、「管理者モードと一般ユーザーモード」(→P.88)を参照してください。

## 2

設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。

プリンタの詳細な情報が表示されます。



## 3

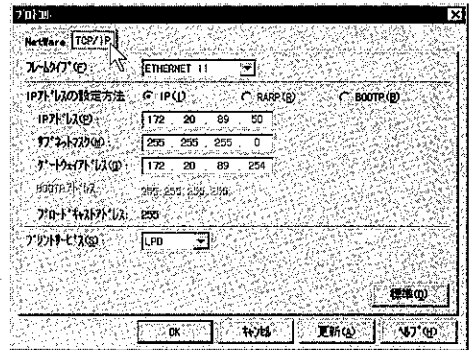
[ネットワーク] シートを表示し [プロトコル設定...] ボタンをクリックするか、[設定] - [プロトコル...] メニューを選択します。

[プロトコル] ダイアログボックスが表示されます。



## 4

設定するネットワークプロトコルのタブをクリックします。



## 5

画面に表示される各項目を設定します。各項目の説明は、[ヘルプ] ボタンをクリックしてNetSpotのヘルプを参照してください。



- [フレームタイプ] または [フェーズタイプ] を [無効] に設定すると、そのネットワークプロトコルでNTTFAX D-60が認識されなくなります。

## 6

[OK] ボタンまたは [更新] ボタンをクリックし、設定を有効にします。

これでネットワークの設定は完了しました。

## 4



# 4

第4章 NoSQLデータベース管理のしくみ

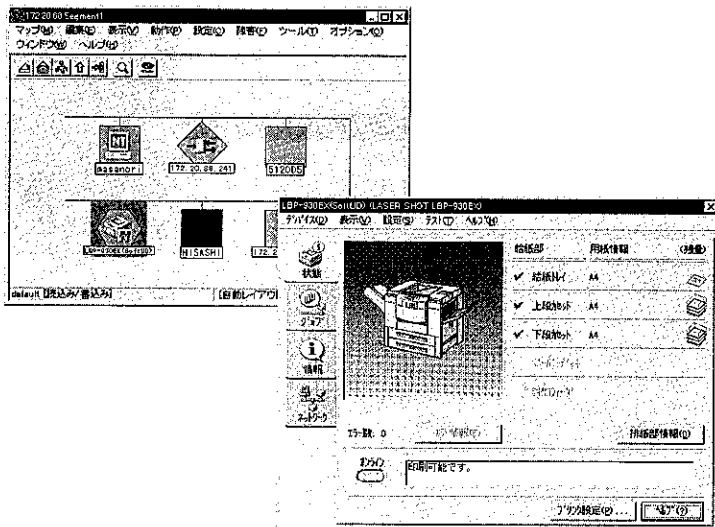


付 録



# 1 HP OpenView ネットワーク ノードマネージャをお使いの方へ

Windows NT 4.0 または Windows NT 3.51 上で HP OpenView ネットワーク ノードマネージャをお使いの方は、OpenView ネットワーク ノードマネージャに NetSpot を登録することで、OpenView ネットワーク ノードマネージャに表示されている NetSpot 対応プリンタから NetSpot と同様にプリンタの管理が行えるようになります。



メモ

- OpenView および OpenView ネットワーク ノードマネージャは Hewlett-Packard 社のネットワーク管理ソフトウェアです。これらのソフトウェアに関しては、それぞれの説明書などを参照してください。

## NetSpot の登録方法、操作方法

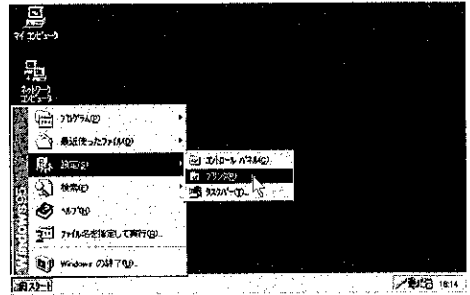
OpenView ネットワーク ノードマネージャに NetSpot を登録する方法と操作方法については、CD-ROM の [ov] ディレクトリにある README.TXT を参照してください。

## 2) 不要なプリンタドライバを削除する

### 1

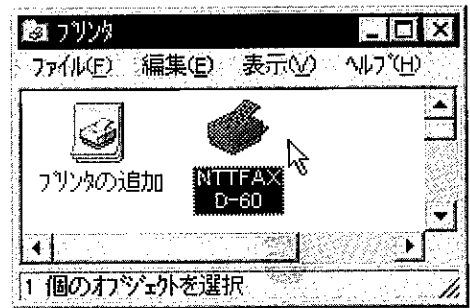
[スタート]メニューの[設定]-[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]フォルダが表示されます。



### 2

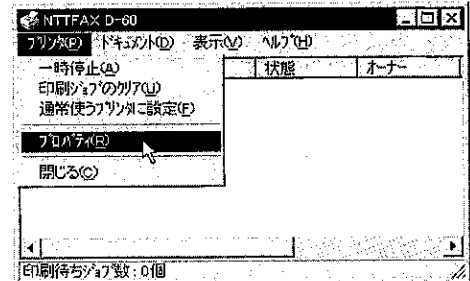
削除するプリンタドライバかどうかバージョン情報を調べます。本プリンタの名前のアイコンをダブルクリックします。



### 3

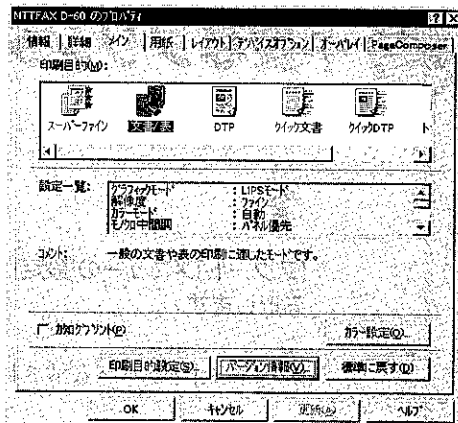
[プリンタ]-[プロパティ]メニューを選択します。

プロパティダイアログボックスが表示されます。



## 4

[メイン]シート ([メイン]シートがないときは、[用紙]シート) を表示します。



## 5

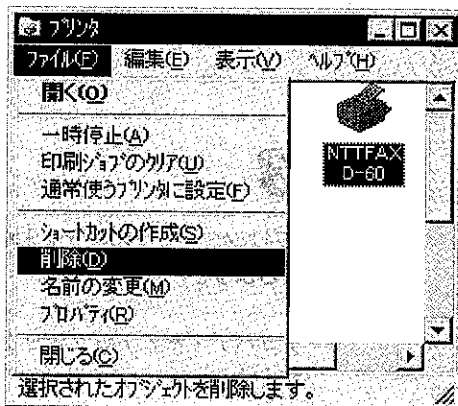
[バージョン情報...]ボタンをクリックすると、バージョン情報が表示されます。

削除するプリンタドライバであることを確認します。

## 6

不要なプリンタドライバを削除するには、[プリンタ]フォルダでそのアイコンを選択し、[ファイル]-[削除]メニューを選択します。

選択したプリンタドライバが削除されます。





## 3 FontGallery について

本CD-ROMにはプリンタドライバ、Print Buddy IIと共にWindows 95/98、Windows NT4.0に対応したTrueType フォント「FontGallery®」を同梱しています。FontGalleryにはTrueType フォントとして通常書体と、かな書体が収められています。また、かなフォントユーティリティ「FontComposer®」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。



お願い

- かな書体およびFontComposerはWindows 95/98、Windows NT4.0をお使いの場合にご利用いただけます。

## FontGallery 同梱書体見本

### ●通常書体

平成明朝体W 3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 9	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体C a - L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体C a - M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体C a - B	夢のある多彩なフォント
教科書体NT - M	夢のある多彩なフォント
楷書体NT - M	夢のある多彩なフォント
行書体LC - M	夢のある多彩なフォント

### ●かな書体

こでまりL	ゆめのあるふおんど
こでまりM	ゆめのあるふおんど
こでまりB	ゆめのあるふおんど
こでまりH	ゆめのあるふおんど
からたちL	ゆめのあるふおんど
からたちM	ゆめのあるふおんど
からたちB	ゆめのあるふおんど
からたちH	ゆめのあるふおんど

さんざしL	ゆめのあるふおんと
さんざしM	ゆめのあるふおんと
さんざしB	ゆめのあるふおんと
さんざしH	ゆめのあるふおんと
あしびL	ゆめのあるふおんと
あしびM	ゆめのあるふおんと
あしびB	ゆめのあるふおんと
あしびH	ゆめのあるふおんと
さざんかL	ゆめのあるふおんと
さざんかM	ゆめのあるふおんと
さざんかB	ゆめのあるふおんと
さざんかH	ゆめのあるふおんと
はしばみL	ゆめのあるふおんと
はしばみM	ゆめのあるふおんと
はしばみB	ゆめのあるふおんと
はしばみH	ゆめのあるふおんと
てっせんL	ゆめのあるふおんと
てっせんM	ゆめのあるふおんと
てっせんB	ゆめのあるふおんと
てっせんH	ゆめのあるふおんと

### ●組み合わせサンプル：かなフォントユーティリティ FontComposer

平成明朝体W 3 + こでまりL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 5 + こでまりM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 7 + こでまりB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 9 + こでまりH	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 3 + からたちL	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 5 + からたちM	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 7 + さんざしB	夢のある多彩なフォント
平成明朝体W 9 + てっせんH	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 3 + あしびL	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 5 + あしびM	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 7 + あしびB	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 9 + あしびH	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 5 + さざんかM	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 7 + さざんかB	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体W 9 + はしばみH	夢のある多彩なフォント
楷書体NT-M + てっせんM	夢のある多彩なフォント

## FontGalleryのインストール

FontGalleryでは、各種の取扱説明書(インストールガイド等含む)をCD-ROM内のデータファイルとして用意しています。インストールに関する詳細については、次のファイルに記載されていますのでご覧ください。収容場所は次のとおりです。

FontGallery 取扱説明： ¥Fgallery¥Manual¥Font¥FGMANUAL.wri  
(ライト形式ファイル)

FontComposer 取扱説明： ¥Fgallery¥Manual¥Composer¥FCMANUAL.wri  
(ライト形式ファイル)



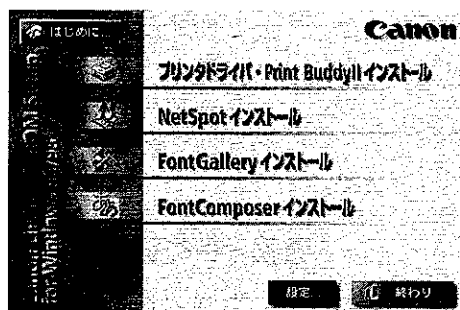
- フォントをインストールするには多少時間がかかります。1書体につき10秒前後かかりますので、予めご了承ください。

### FontGallery をインストールする場合

#### 1

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

次のCD-ROMメニューが自動的に表示されます。



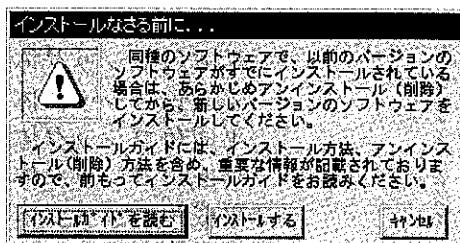
- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

#### 2

CD-ROMメニューの[FontGalleryインストール]ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して[同意します]ボタンをクリックしてください。

[インストールなされる前に]ダイアログボックスが表示されます。



### 3

[インストールする]ボタンをクリックします。

[フォント]フォルダが自動的に開きます。

### 4

[ファイル] - [新しいフォントのインストール]を選びます。

[フォントの追加] ダイアログボックスが表示されます。

### 5

[ドライブ] からCD-ROMのドライブを選びます。

### 6

[フォルダ] の一覧から、Fgallery フォルダにあるFont フォルダをダブルクリックします。

選んだフォルダにあるフォントが、[フォントの一覧] に表示されます。

### 7

[フォントの一覧] から、追加したいフォントを選びます。

### 8

フォントのファイルをWindowsのシステムディレクトリにコピーするために、[フォントフォルダにフォントをコピーする]のチェックボックスをクリックして、チェックマークを付けます。

### 9

[OK] ボタンを押してフォントを追加します。

[フォント] フォルダにフォントが追加されます。



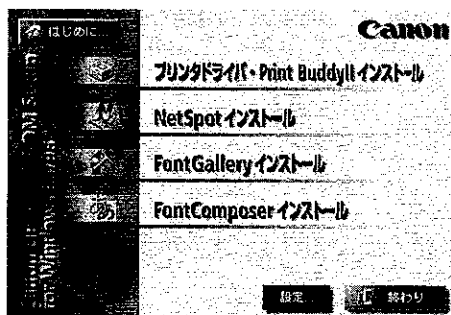
## FontComposer、かなデータをインストールする場合

FontComposerをインストールすることによって、かなデータも同時にインストールされます。

### 1

付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

次のCD-ROMメニューが自動的に表示されます。



メモ

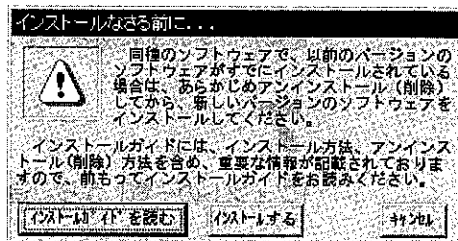
- CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、CD-ROMメニューが自動的に表示されます。ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROMのルートディレクトリにあるAutorun.exeファイルをダブルクリックして起動してください。

### 2

CD-ROMメニューの[FontComposerインストール]ボタンをクリックします。

使用許諾契約書が画面に表示されますので、内容を確認して[同意します]ボタンをクリックしてください。

[インストールなされる前に]ダイアログボックスが表示されます。



### 3

[インストールする]ボタンをクリックします。

インストールプログラムが起動し、[ようこそ!]の画面が表示されます。

### 4

[次へ]ボタンを押します。[インストール先指定]の画面が表示されます。「インストール先ディレクトリ」の表示内容を確認して [次へ]ボタンを押します。

## 5

初めてインストールするときは、[ディレクトリを作成しますか? ]の確認ダイアログボックスが表示されます。[はい] ボタンを押してください。

## 6

インストールが正常に終了すると[インストールは正常に終了されました。]のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンを押します。

# 索引

## 数字・アルファベット

2・4ページ印刷	38
DTP	29
FontGallery	92
FontComposer	96
LIPS IV プリンタドライバ	7
NetSpot	71
N ページ印刷	50,52
PageComposer	49
Print Buddyll	7,19,61
TrueType フォント	29,42
Windows 95/98	5,7
Windows NT4.0	55,57

## あ行

アプリケーションソフト	16
一般ユーザモード	75
イメージ	29
印刷時の文書設定	67
印刷の手順	16
印刷の向き	32
印刷モードのカスタマイズ	41
印刷目的アイコン	29,41
印刷目的アイコンの登録	43
印字順	38
オートパレット機能	29
オーバーレイ機能	45
オーバーレイ印字	45

## か行

解像度	29
拡縮率	37
拡大・縮小	35,50
重ね合わせて印刷	45
管理者モード	75

逆順印刷	49
給紙方法	34
クイック DTP	29
クイック文書	29
原稿の種類	29

## さ行

スーパーファイン	29,30
スタンプ印刷	50
ステータスマニタ	7,21

## た行

定型サイズ of 原稿を拡縮	35
データの重ね合わせ	45
デバイスボード	7,20
とじ代	40
とじ方向	40
トナー節約	29

## な行

任意の倍率で拡縮	36
ネットワークボード	8,57
ネットワークの設定	84

## は行

複数部数の印刷	39
部数	39
部単位印刷	50,51
プラグ&プレイ	9
プリンタドライバの設定方法	25,67
プリンタドライバのヘルプ	27
プリンタの管理	72
プリンタの状態	79
プリンタの設定	69,82
プロトコル	74,85
文書の標準設定	68

文書 / 表 .....	29
ページ数 .....	38
ページレイアウト .....	38
ヘルプの使い方 .....	27
便利な印刷方法 .....	18
ポスター印刷 .....	50,53

## や行

ユーザ定義用紙 .....	33
用紙サイズ .....	31,32

### 注 意

本製品は、外国為替および外国簡易管理法が定める規制貨物に該当いたします。  
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

### NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、  
エコマーク認定の  
再生紙を使用して  
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



# NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE  
CORPORATION

FA7-1824-010

日本電信電話株式会社

〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2

本1864-1(98.9)